

【資料】

1. 調査団員・氏名

基本設計第1次現地調査(B/D)：2009年5月12日(火)～2009年6月10日(水) (30日間)

| 氏名 | 担当 | 所属 |
|----------------|---------------------------------|---|
| 内藤 智之 | 総括 | 国際協力機構 (JICA) 経済基盤開発部 運輸交通・情報 通信グループ 運輸交通・情報通信第二課 課長 |
| 糸山 大志 | 計画管理 | 国際協力機構 (JICA) 経済基盤開発部 運輸交通・情報 通信グループ 運輸交通・情報通信第二課 |
| 渡邊 亮平 | 業務主任／道路交通計画 ／環境社会配慮 | (株)建設技研インターナショナル |
| 溝田 祐造 | 道路設計Ⅰ(本線工)／積算Ⅱ | (株)建設技研インターナショナル |
| 土田 貴之 | 道路設計Ⅱ(付帯工)／交差点 | (株)建設技研インターナショナル |
| シュレスタ ロビンソン | 自然条件調査(地形・地質／既存構 造物・地下埋設物調査) | (株)建設技研インターナショナル (補強) |
| 三浦 実 | 施工計画／積算Ⅰ | (株)建設技研インターナショナル |
| 鈴木 源太郎 | 通訳(日⇄仏) | (株)翻訳センターパイオニア |

基本設計第2次現地調査(B/D)：2009年8月11日(火)～2009年8月25日(火) (15日間)

| 氏名 | 担当 | 所属 |
|--------|------------------------|------------------|
| 渡邊 亮平 | 業務主任／道路交通計画 ／環境社会配慮 | (株)建設技研インターナショナル |
| 溝田 祐造 | 道路設計Ⅰ(本線工)／積算Ⅱ | (株)建設技研インターナショナル |
| 三浦 実 | 施工計画／積算Ⅰ | (株)建設技研インターナショナル |
| 鈴木 源太郎 | 通訳(日⇄仏) | (株)翻訳センターパイオニア |

基本設計第3次現地調査(B/D)：2009年10月25日(日)～2009年11月1日(日) (8日間)

| 氏名 | 担当 | 所属 |
|--------|------------------------|--|
| 糸山 大志 | 計画管理 | 国際協力機構 (JICA) 経済基盤開発部 運輸交通・情報 通信グループ 運輸交通・情報通信第二課 |
| 渡邊 亮平 | 業務主任／道路交通計画 ／環境社会配慮 | (株)建設技研インターナショナル |
| 土田 貴之 | 道路設計Ⅱ (付帯工) ／交差点 | (株)建設技研インターナショナル |
| 鈴木 源太郎 | 通訳 (日⇄仏) | (株)翻訳センターパイオニア |

基本設計第4次現地調査(B/D)：2009年11月27日(金)～2009年12月6日(日) (13日間)

| 氏名 | 担当 | 所属 |
|----------------|----------------------------------|------------------|
| 渡邊 亮平 | 業務主任／道路交通計画 ／環境社会配慮 | (株)建設技研インターナショナル |
| シュレスタ ロビンソン | 自然条件調査 (地形・地質／既存構 造物・地下埋設物調査) | (株)建設技研インターナショナル |
| 三浦 実 | 施工計画／積算Ⅰ | (株)建設技研インターナショナル |
| 鈴木 源太郎 | 通訳 (日⇄仏) | (株)翻訳センターパイオニア |

基本設計概要書説明調査(D・B/D)：2009年1月26日(火)～2009年2月7日(日) (13日間)

| 氏名 | 担当 | 所属 |
|--------|------------------------|---|
| 本村 洋 | 総括 | 国際協力機構 (JICA) 経済基盤開発部 運輸交通・情報 通信グループ 運輸交通・情報通信第二課 課長 |
| 渡邊 亮平 | 業務主任／道路交通計画 ／環境社会配慮 | (株)建設技研インターナショナル |
| 三浦 実 | 施工計画／積算Ⅰ | (株)建設技研インターナショナル |
| 鈴木 源太郎 | 通訳 (日⇄仏) | (株)翻訳センターパイオニア |

2. 調査行程

ブルンジ国ブジュブラ市内交通網整備計画準備調査(第1次現地調査スケジュール)

| No. | 月日 | JICA | 業務主任/道路交通計画 /環境社会配慮 | 道路設計I(本線工) /積算II | 道路設計II(付帯工) /交差点 | 自然条件調査(地形・地質/既存 道路構造物・地下埋設物) | 施工計画/積算I | 通訳(日⇄仏) |
|-----|----------|---|--|--|--|--|--|--|
| | | 内藤、糸山 | 渡邊 亮平 | 溝田 祐造 | 土田 貴之 | シュレスタ・ロビンソン | 三浦 実 | 鈴木 源太郎 |
| 1 | 5月10日(日) | 移動(羽田→開空→) | 移動(羽田→開空→)(EK6257/JL185) (開空→ドバイ)(EK317/JL5099) | 移動(羽田→開空→)(EK6257/JL185) (開空→ドバイ)(EK317/JL5099) | 移動(羽田→開空→)(EK6257/JL185) (開空→ドバイ)(EK317/JL5099) | 移動(羽田→開空→)(EK6257/JL185) (開空→ドバイ)(EK317/JL5099) | 移動(羽田→開空→)(EK6257/JL185) (開空→ドバイ)(EK317/JL5099) | 移動(羽田→開空→)(EK6257/JL185) (開空→ドバイ)(EK317/JL5099) |
| 2 | 11日(月) | 移動(ドバイ→ナイロビ) | 移動(ドバイ→ナイロビ)(EK719) | 移動(ドバイ→ナイロビ)(EK719) | 移動(ドバイ→ナイロビ)(EK719) | 移動(ドバイ→ナイロビ)(EK719) | 移動(ドバイ→ナイロビ)(EK719) | 移動(ドバイ→ナイロビ)(EK719) |
| 3 | 12日(火) | 移動(ナイロビ→ブジュブラ) EU表敬・在ブルンジ中国大使館表敬 | 移動(ナイロビ→ブジュブラ)(KQ468) EU表敬・団内打合せ | 移動(ナイロビ→ブジュブラ)(KQ468) EU表敬・団内打合せ | 移動(ナイロビ→ブジュブラ)(KQ468) EU表敬・団内打合せ | 移動(ナイロビ→ブジュブラ)(KQ468) EU表敬・団内打合せ | 移動(ナイロビ→ブジュブラ)(KQ468) EU表敬・団内打合せ | 移動(ナイロビ→ブジュブラ)(KQ468) EU表敬・団内打合せ |
| 4 | 13日(水) | 運輸・郵便・通信省表敬 公共事業・設備省道路局表敬 公共事業・設備省 大臣表敬 | 運輸・郵便・通信省表敬 公共事業・設備省道路局表敬 公共事業・設備省 大臣表敬 | 現地再委託準備 公共事業・設備省道路局表敬 公共事業・設備省 大臣表敬 | 現地再委託準備 公共事業・設備省道路局表敬 公共事業・設備省 大臣表敬 | 現地再委託準備 公共事業・設備省道路局表敬 公共事業・設備省 大臣表敬 | 運輸・郵便・通信省表敬 公共事業・設備省道路局表敬 公共事業・設備省 大臣表敬 | 運輸・郵便・通信省表敬 公共事業・設備省道路局表敬 公共事業・設備省 大臣表敬 |
| 5 | 14日(木) | 公共事業・設備省道路局協議 現地調査 | 公共事業・設備省道路局協議 現地調査 | 公共事業・設備省道路局協議 現地調査 | 公共事業・設備省道路局協議 現地調査 | 公共事業・設備省道路局協議 現地調査 | 公共事業・設備省道路局協議 現地調査 | 公共事業・設備省道路局協議 現地調査 |
| 6 | 15日(金) | MD協議 | MD協議 | 現地調査・再委託協議 | 現地調査・再委託協議 | 現地調査・再委託協議 | MD協議 | MD協議 |
| 7 | 16日(土) | 現地調査・再委託協議 | 現地調査・再委託協議 | 現地調査・再委託協議 | 現地調査・再委託協議 | 現地調査・再委託協議 | 現地調査・再委託協議 | 現地調査・再委託協議 |
| 8 | 17日(日) | MD協議・資料整理 | MD協議・再委託契約締結 | 資料整理・再委託契約締結 | 資料整理・再委託契約締結 | 資料整理・再委託契約締結 | MD協議・再委託契約締結 | MD協議・再委託契約締結 |
| 9 | 18日(月) | 運輸・郵便・通信省協議、MD協議 | 現地調査・MD協議 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査・MD協議 | 現地調査・MD協議 |
| 10 | 19日(火) | 資料整理・MD署名 | 現地調査・MD署名 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査・MD署名 | 現地調査・MD署名 |
| 11 | 20日(水) | 移動(ブジュブラ→ナイロビ) 報告(EOJ、JICA) | 道路局協議・現地調査 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査 | 道路局協議・現地調査 |
| 12 | 21日(木) | 移動(ナイロビ→ドバイ) | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査 |
| 13 | 22日(金) | 移動(ドバイ→開空→羽田) | 埋設物管理者訪問・環境局協議・現地 調査 | 埋設物管理者訪問・環境局協議・現地 調査 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査・資料整理 | 埋設物管理者訪問・環境局協議・現地 調査 |
| 14 | 23日(土) | | 協議資料作成 | 現地調査・協議資料作成 | 現地調査・データ整理 | 現地調査・データ整理 | 協議資料作成 | 資料整理・翻訳 |
| 15 | 24日(日) | | 現地調査・協議資料作成 | 現地調査 | データ整理 | データ整理 | 協議資料作成・データ整理 | 翻訳 |
| 16 | 25日(月) | | 埋設物管理者訪問・SETEMU訪問・ JICAブルンジ事務所協議・現地調査 | 埋設物管理者訪問・SETEMU訪問 現地調査 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査・データ整理 | 埋設物管理者訪問・SETEMU訪問 |
| 17 | 26日(火) | | 道路局打合せ、SETEMU訪問 現地業者協議 | 道路局打合せ、SETEMU訪問 ブルンジ港調査 | 現地調査 | 現地調査 | 現地調査(施工計画) | 道路局打合せ、SETEMU訪問 ブルンジ港調査 |
| 18 | 27日(水) | | 現地業者協議・埋設物合同協議 協議資料作成 | SETEMU協議・埋設物合同協議 | 現地調査 | 現地調査 | EU協議・埋設物合同協議 | SETEMU協議・埋設物合同協議 |
| 19 | 28日(木) | | 地下埋設物調査・住宅局協議 現地業者協議 | 地下埋設物調査・住宅局協議 資料収集 | 現地調査 | 現地調査 | 地下埋設物調査・現地業者協議 資料整理 | 地下埋設物調査・住宅局協議 資料収集 |
| 20 | 29日(金) | | 協議資料作成・地下埋設物調査 | 道路局協議・港調査・資料収集 | 現地調査 | 現地調査 | 協議資料作成・地下埋設物調査 | 道路局協議・港調査・資料収集 |
| 21 | 30日(土) | | 協議資料作成 | 現地調査・協議資料作成 | データ整理 | データ整理・協議資料作成 | 協議資料作成・データ整理 | 協議資料翻訳 |
| 22 | 31日(日) | | 協議資料作成 | 現地調査・協議資料作成 | データ整理 | データ整理・協議資料作成 | 現地調査・協議資料作成 | 協議資料翻訳 |
| 23 | 6月1日(月) | | 環境局協議・道路局技術協議 | 環境局協議・道路局技術協議 | データ整理 | データ整理・現地調査 | データ整理・現地調査・報告書作成 | 環境局協議・道路局技術協議 |
| 24 | 2日(火) | | 資料収集・現地コントラクター訪問 | 資料収集・現地埋設管理者協議 | データ整理・報告書作成 | データ整理・現地調査・報告書作成 | データ整理・現地調査・報告書作成 | 資料収集・現地コントラクター訪問 |
| 25 | 3日(水) | | 用地確保合同調査・Technical Note協 議 | 用地確保合同調査・Technical Note協 議 | 用地確保合同調査・データ整理・現地 調査・報告書作成 | 用地確保合同調査・データ整理・現地 調査・報告書作成 | 用地確保合同調査・データ整理・現地 調査・報告書作成 | 用地確保合同調査・Technical Note協 議 |
| 26 | 4日(木) | | 質問表回答の協議・コントラクター訪問・ JICA打合せ | 質問表の協議・SETEM協議 | データ整理・現地調査・報告書作成 | データ整理・現地調査 | データ整理・資料作成・JICA打合せ | 質問表の協議・コントラクター訪問 |
| 27 | 5日(金) | | Technical Note協議/サイン、埋設物管 理者協議、コントラクター訪問 | 現地調査・データ整理・報告書作成・質 問表回答の協議 | 現地調査・データ整理・報告書作成 | 現地調査・データ整理・報告書作成 | 現地調査・データ整理・報告書作成 | Technical Note協議/サイン、埋設物管 理者協議、コントラクター訪問 |
| 28 | 6日(土) | | 報告書作成 | 現地調査・報告書作成 | 報告書作成・データ整理 | 報告書作成・データ整理 | 報告書作成・データ整理 | 資料整理 |
| 29 | 7日(日) | | 報告書作成 | 現地調査・報告書作成 | 報告書作成・データ整理 | 報告書作成・データ整理 | 報告書作成・データ整理 | 資料整理 |
| 30 | 8日(月) | | 資料整理 | 資料整理 | 資料整理 | 資料整理 | 資料整理 | 資料整理 |
| 31 | 9日(火) | | 報告(JICAブルンジ) 現地調査(再委託業務照査) | 報告(JICAブルンジ) 現地調査(再委託業務照査) | 報告(JICAブルンジ) 現地調査(再委託業務照査) | 報告(JICAブルンジ) 現地調査(再委託業務照査) | 報告(JICAブルンジ) 現地調査(再委託業務照査) | 報告(JICAブルンジ) 現地調査(再委託業務照査) |
| 32 | 10日(水) | | 移動(ブジュブラ→ナイロビ)(KQ471) | 移動(ブジュブラ→ナイロビ)(KQ471) | 移動(ブジュブラ→ナイロビ)(KQ471) | 移動(ブジュブラ→ナイロビ)(KQ471) | 移動(ブジュブラ→ナイロビ)(KQ471) | 移動(ブジュブラ→ナイロビ)(KQ471) |
| 33 | 11日(木) | | 報告(JICAケニア) | 報告(JICAケニア) | 報告(JICAケニア) | 報告(JICAケニア) | 報告(JICAケニア) | 報告(JICAケニア) |
| 34 | 12日(金) | | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) |
| 35 | 13日(土) | | 移動(ドバイ→開空)(EK316/JL5090) (開空→羽田)(EK6250/JL192) | 移動(ドバイ→開空)(EK316/JL5090) (開空→羽田)(EK6250/JL192) | 移動(ドバイ→開空)(EK316/JL5090) (開空→羽田)(EK6250/JL192) | 移動(ドバイ→開空)(EK316/JL5090) (開空→羽田)(EK6250/JL192) | 移動(ドバイ→開空)(EK316/JL5090) (開空→羽田)(EK6250/JL192) | 移動(ドバイ→開空)(EK316/JL5090) (開空→羽田)(EK6250/JL192) |

資料-3

ブルンジ(ブジュブラ)
ケニア(ナイロビ)
移動(表敬訪問等含む)

JICA: Japan International Cooperation Agency
EOJ: Embassy of Japan
MD: Minutes of Discussion

往路旅程

5月10日 (日) 羽田 (19:55) →開空 (21:10)
開空 (23:15) →ドバイ (05:30+1)
5月11日 (月) ドバイ (10:40) →ナイロビ (14:50)
5月12日 (火) ナイロビ (08:00) →ブジュブラ (08:40)

復路旅程

6月10日 (水) ブジュブラ (09:20) →ナイロビ (12:00)
6月12日 (金) ナイロビ (16:40) →ドバイ (22:40)
6月13日 (土) ドバイ (03:10) →開空 (17:20)
開空 (21:05) →羽田 (22:15)

(KQ471) 01h40m
(EK720) 05h00m
(EK316/JL5090) 09h10m
(EK6250/JL192) 01h10m

ブルンジ国ブジュンブラ市内交通網整備計画準備調査(第2次現地調査)




| No. | 月日 | 業務主任/道路交通計画 /環境社会配慮 | 道路設計I(本線工) /積算II | 施工計画/積算I | 通訳(日⇄仏) |
|-----|------------|--|--|--|--|
| | | 渡邊 亮平 | 溝田 祐造 | 三浦 実 | 鈴木 源太郎 |
| 1 | 8月 11日 (火) | 移動(羽田→関空→) (EK6257/JL185) (関空→ドバイ) (EK317/JL5099) | 移動(羽田→関空→) (EK6257/JL185) (関空→ドバイ) (EK317/JL5099) | 移動(羽田→関空→) (EK6257/JL185) (関空→ドバイ) (EK317/JL5099) | 移動(羽田→関空→) (EK6257/JL185) (関空→ドバイ) (EK317/JL5099) |
| 2 | 12日 (水) | 移動(→ドバイ→ナイロビ) (EK719) | 移動(→ドバイ→ナイロビ) (EK719) | 移動(→ドバイ→ナイロビ) (EK719) | 移動(→ドバイ→ナイロビ) (EK719) |
| 3 | 13日 (木) | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ) (KQ468) 道路局表敬・協議 JICA表敬 | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ) (KQ468) 道路局表敬・協議 JICA表敬 | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ) (KQ468) 道路局表敬・協議 JICA表敬 | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ) (KQ468) 道路局表敬・協議 JICA表敬 |
| 4 | 14日 (金) | 道路局協議 現地調査 JICA資金協力支援部現地視察 同行 | 道路局協議 現地調査 JICA資金協力支援部現地視察 同行 | 道路局協議 現地調査 JICA資金協力支援部現地視察 同行 | 道路局協議 現地調査 JICA資金協力支援部現地視察 同行 |
| 5 | 15日 (土) | 現場調査 調達調査 | 現場調査 調達調査 | 現場調査 調達調査 | 現場調査 調達調査 |
| 6 | 16日 (日) | 現場調査 団内会議 資料まとめ | 現場調査 団内会議 資料まとめ | 現場調査 団内会議 | 資料翻訳 |
| 7 | 17日 (月) | 道路局協議 環境局協議 住宅局協議 | 道路局協議 環境局協議 住宅局協議 | 道路局協議 環境局協議 住宅局協議 | 道路局協議 環境局協議 住宅局協議 |
| 8 | 18日 (火) | ロヘロ地区長との協議 廃棄物捨場、土取場視察 協議資料作成 | ロヘロ地区長との協議 廃棄物捨場、土取場視察 環境局協議 | ロヘロ地区長との協議 廃棄物捨場、土取場視察 環境局協議 | ロヘロ地区長との協議 廃棄物捨場、土取場視察 環境局協議 協議資料翻訳 |
| 9 | 19日 (水) | 廃棄物捨場視察(環境局同行) 現場調査 協議資料・議事録作成 | 廃棄物捨場視察(環境局同行) 現場調査 協議資料・議事録作成 | 廃棄物捨場視察(環境局同行) 現場調査 協議資料・議事録作成 | 廃棄物捨場視察(環境局同行) 現場調査 協議資料・議事録翻訳 |
| 10 | 20日 (木) | 協議議事録作成・協議 予算局協議 帰国報告作成 | 協議議事録協議 予算局協議 帰国報告作成 | 協議議事録協議 予算局協議 帰国報告作成 | 協議議事録翻訳・協議 |
| 11 | 21日 (金) | 協議議事録サイン JICAフィールド事務所帰国報告 | 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ468) ブジュンブラ発9:40→ナイロビ着 13:50 | 協議議事録サイン JICAフィールド事務所帰国報告 | 協議議事録サイン JICAフィールド事務所帰国報告 |
| 12 | 22日 (土) | ロヘロ地区地域代表者へのプロ ジェクト説明 団内会議 | 業務連絡他 | ロヘロ地区地域代表者へのプロ ジェクト説明 団内会議 | ロヘロ地区地域代表者へのプロ ジェクト説明 団内会議 |
| 13 | 23日 (日) | 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ471) 帰国報告(JICAケニア) | ブルンジ国ブジュンブラ市内交通 網整備計画 帰国報告(JICAケ ニア) | 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ471) 帰国報告(JICAケニア) | 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ471) 帰国報告(JICAケニア) |
| 14 | 24日 (月) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 業務連絡他 | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) |
| 15 | 25日 (火) | 移動(ドバイ→関空) (EK316/JL5090) (関空→羽田) (EK6250/JL192) | 移動(ドバイ→関空) (EK316/JL5090) (関空→羽田) (EK6250/JL192) | 業務連絡他 | 移動(ドバイ→関空) (EK316/JL5090) (関空→羽田) (EK6250/JL192) |
| 14 | 26日 (水) | | | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | |
| 15 | 27日 (木) | | | 移動(ドバイ→関空) (EK316/JL5090) (関空→羽田) (EK6250/JL192) | |

| | |
|--------------|--|
| ブルンジ(ブジュンブラ) | |
| ケニア(ナイロビ) | |
| 移動(表敬訪問等含む) | |

ブルンジ国ブジュンブラ市内交通網整備計画準備調査(第3次現地調査行程)




| No. | 月日 | JICA | 業務主任/道路交通計画 /環境社会配慮 | 道路設計II(付帯工) /交差点 | 通訳(日⇄仏) |
|-----|-------------|--|--|--|--|
| | | 糸山 | 渡邊 亮平 | 土田 貴之 | 鈴木 源太郎 |
| 1 | 10月 25日 (日) | 移動(羽田→関空→) (EK6257/JL185) (関空→ドバイ) (EK317/JL5099) | 移動(羽田→関空→)(JL187) (関空→ドバイ) (EK317/JL5099) | 移動(羽田→関空→)(JL187) (関空→ドバイ) (EK317/JL5099) | 移動(羽田→関空→)(JL187) (関空→ドバイ) (EK317/JL5099) |
| 2 | 26日 (月) | 移動(ドバイ→ナイロビ)(EK719) | 移動(ドバイ→ナイロビ)(EK719) | 移動(ドバイ→ナイロビ)(EK719) | 移動(ドバイ→ナイロビ)(EK719) |
| 3 | 27日 (火) | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ)(KQ448) 11:00 JICA 14:00 公共事業省道路局 17:00 財務省 18:00 JICAブルンジフィールドオフィス | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ)(KQ448) 11:00 現地調査 14:00 公共事業省道路局 17:00 財務省 18:00 JICAブルンジフィールドオフィス | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ)(KQ448) 11:00 現地調査 14:00 公共事業省道路局 17:00 財務省 18:00 JICAブルンジフィールドオフィス | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ)(KQ448) 11:00 現地調査 14:00 公共事業省道路局 17:00 財務省 18:00 JICAブルンジフィールドオフィス |
| 4 | 28日 (水) | 09:00 公共事業省道路局 MD協議 | 09:00 公共事業省道路局 MD協議 | 09:00 公共事業省道路局 MD協議 | 09:00 公共事業省道路局 MD協議 |
| 5 | 29日 (木) | 10:00 MD協議(道路局) 15:00 住宅局協議 | 10:00 MD協議(道路局) 15:00 住宅局協議 | 10:00 MD協議(道路局) 15:00 住宅局協議 | 10:00 MD協議(道路局) 15:00 住宅局協議 |
| 6 | 30日 (金) | 7:30 MD署名(公共事業省大臣) 8:00 MD署名(公共事業省道路総局長) 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ468) 報告 JICAケニア事務所 | 7:30 MD署名(公共事業省大臣) 8:00 MD署名(公共事業省道路総局長) 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ468) 報告 JICAケニア事務所 | 7:30 MD署名(公共事業省大臣) 8:00 MD署名(公共事業省道路総局長) 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ468) 報告 JICAケニア事務所 | 7:30 MD署名(公共事業省大臣) 8:00 MD署名(公共事業省道路総局長) 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ468) 報告 JICAケニア事務所 |
| 7 | 31日 (土) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) |
| 8 | 11月 1日 (日) | 移動(ドバイ→関空)(EK316/JL5090) (関空→羽田)(JL188) | 移動(ドバイ→関空)(EK316/JL5090) (関空→羽田)(JL188) | 移動(ドバイ→関空)(EK316/JL5090) (関空→羽田)(JL188) | 移動(ドバイ→関空)(EK316/JL5090) (関空→羽田)(JL188) |

【宿泊地】

| | |
|--------------|---|
| ブルンジ(ブジュンブラ) |  |
| ケニア(ナイロビ) |  |
| 機中 |  |

ブルンジ国ブジュンブラ市内交通網整備計画準備調査(第4次調査行程)

| 日数 | 月 | 日 | 曜日 | 業務主任/道路交通計画 /環境社会配慮 | 自然条件調査(地形・地質/ 既存道路構造物・地下埋設 物) | 施工計画/積算I | 通訳(日⇄仏) |
|----|----|----|----|--|-------------------------------------|------------------|-----------------------------|
| | | | | 渡邊 亮平 | シュレスタ・ロビンソン | 三浦 実 | 鈴木 源太郎 |
| 1 | 11 | 27 | 金 | 羽田 20:40 (JL187) → 関空 23:20 (JL5099) → ドバイ 5:40 | | | |
| 2 | | 28 | 土 | ドバイ 10:45 (EK719) → ナイロビ 14:55 | | | |
| 3 | | 29 | 日 | ナイロビ 7:50 (KQ 470) → ブルンジ 8:30 PM: 現地調査 | | | |
| 4 | | 30 | 月 | 道路局協議、青少年・スポーツ文化省文化総局協議、ロヘロ地区長表敬 住宅局協議 | 現地調査 | 住宅局協議 | |
| 5 | 12 | 1 | 火 | 埋設管理者協議 現地調査 | 現地調査 | 埋設管理者協議 現地調査 | |
| 6 | | 2 | 水 | 公共事業大臣との現地協議 | | | |
| | | | | 埋設管理者協議 道路局協議 | 文化総局と動植物園確認 | 埋設管理者協議 道路局協議 | |
| 7 | | 3 | 木 | 道路局協議 環境局との協議 埋設管理者協議 | 報告書作成 | 報告書作成 | 道路局協議 環境局との協議 埋設管理者協議 |
| | | | | JICAブルンジF.0 帰国報告 | | | |
| 8 | | 4 | 金 | ブルンジ 9:40 (KQ468) → ナイロビ 13:50 JICA ナイロビ事務所帰国報告 | | | |
| 9 | | 5 | 土 | ナイロビ 16:40 (EK720) → ドバイ 22:40 | | | |
| 10 | | 6 | 日 | ドバイ 3:30 (JL5090) → 関空 18:45 (JL188) → 羽田 19:55 | | | |

| | |
|--------------|---|
| ブルンジ(ブジュンブラ) |  |
| ケニア(ナイロビ) |  |
| 移動(表敬訪問等含む) |  |

ブルンジ国ブジュンブラ市内交通網整備計画準備調査(概略設計説明調査行程)

| No. | 月日 | 総括 | 業務主任/道路交通計画 /環境社会配慮 | 施工計画/積算I | 通訳(日⇄仏) |
|-----|------------|--|---|---|---|
| | | 本村 洋 | 渡邊 亮平 | 三浦 実 | 鈴木 源太郎 |
| 1 | 1月 26日 (火) | — | 移動(羽田→関空→)(JL187) (関空→ドバイ)(JL5099) | 移動(羽田→関空→)(JL187) (関空→ドバイ)(JL5099) | 移動(羽田→関空→)(JL187) (関空→ドバイ)(JL5099) |
| 2 | 27日 (水) | — | 移動(→ドバイ→ナイロビ) (EK719) | 移動(→ドバイ→ナイロビ) (EK719) | 移動(→ドバイ→ナイロビ) (EK719) |
| 3 | 28日 (木) | — | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ) (KQ448) JICA表敬 埋設物管理者(水道・電気)協議 | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ) (KQ448) JICA表敬 埋設物管理者(水道・電気)協議 | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ) (KQ448) JICA表敬 埋設物管理者(水道・電気)協議 |
| 4 | 29日 (金) | — | 道路局表敬・協議 埋設物管理者(通信)協議 住宅局協議 | 道路局表敬・協議 埋設物管理者(通信)協議 住宅局協議 | 道路局表敬・協議 埋設物管理者(通信)協議 住宅局協議 |
| 5 | 30日 (土) | — | 現場調査 団内会議 | 現場調査 団内会議 | 現場調査 団内会議 |
| 6 | 31日 (日) | 移動(羽田→関空→)(JL185) (関空→ドバイ)(JL5099) | 現場調査 団内会議 | 現場調査 団内会議 | 現場調査 団内会議 |
| 7 | 2月 1日 (月) | 移動(→ドバイ→ナイロビ)(EK719) | 道路局協議(設計協議) | 道路局協議(設計協議) | 道路局協議(設計協議) |
| 8 | 2日 (火) | 移動(ナイロビ→ブジュンブラ) (KQ448) 現場視察 | 道路局協議(設計協議) 現場視察 | 道路局協議(設計協議) 現場視察 | 道路局協議(設計協議) 現場視察 |
| 9 | 3日 (水) | 水・環境・国土整備・都市計画省 官房表敬 道路局協議(ミニッツ協議) | 水・環境・国土整備・都市計画省 官房表敬 道路局協議(ミニッツ・設計協議) | 水・環境・国土整備・都市計画省 官房表敬 道路局協議(ミニッツ・設計協議) | 水・環境・国土整備・都市計画省 官房表敬 道路局協議(ミニッツ・設計協議) |
| 10 | 4日 (木) | ミニッツ署名 | ミニッツ署名 帰国報告作成 | ミニッツ署名 帰国報告作成 | ミニッツ署名 帰国報告作成 |
| 11 | 5日 (金) | 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ468) 帰国報告(JICAケニア事務所) | 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ468) 帰国報告(JICAケニア事務所) | 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ468) 帰国報告(JICAケニア事務所) | 移動(ブジュンブラ→ナイロビ) (KQ468) 帰国報告(JICAケニア事務所) |
| 12 | 6日 (土) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) | 移動(ナイロビ→ドバイ)(EK720) |
| 13 | 7日 (日) | 移動(ドバイ→関空)(JL5090) (関空→羽田)(JL188) | 移動(ドバイ→関空)(JL5090) (関空→羽田)(JL188) | 移動(ドバイ→関空)(JL5090) (関空→羽田)(JL188) | 移動(ドバイ→関空)(JL5090) (関空→羽田)(JL188) |

| | |
|--------------|--|
| ブルンジ(ブジュンブラ) | |
| ケニア(ナイロビ) | |
| 移動(表敬訪問等含む) | |

3. 主要面談者リスト

JICA ケニア事務所 (JICA Kenya Office)

| | |
|-------------------------|-----------------------|
| Mr. TAKAHASHI Yoshiyuki | Chief Representative |
| Mr. 高橋 嘉行 | JICA ケニア事務所長 |
| Mr. KAWAZUMI Kyosuke | Senior Representative |
| Mr. 河澄 恭輔 | JICA ケニア事務所次長 |
| Ms. MAEKAWA Tomoko | Representative |
| Ms. 前川 倫子 | JICA ケニア事務所員 |

JICA ブルンジ・フィールドオフィス (JICA)

| | |
|--------------------------|------------------------|
| Ms. TSUCHIHATA Izumi | Chef de Mission |
| Ms. 土畑 いずみ | 企画調査員 |
| Mr. NORIKANE Yoshihiro | Directeur de Programme |
| Mr. 則包 佳啓 | 企画調査員 |
| Mr. KIMARARUNGU Alphonse | Consultant |
| Mr. キマラルンク アルフونس | コンサルタント |

欧州連合 (Union Européenne)

| | |
|----------------------|-------------------------------------|
| Mr. NIYOGUSABA Egidé | Program Manager for Infrastructures |
| Mr. ニヨグサバ エジッド | 社会基盤プログラムマネージャー |

公共事業・設備省 (Ministère des Travaux Publics et de l'Équipement : MTPE)

| | |
|------------------------|---|
| Mr. KANYENKIKO Anatole | Ministre |
| Mr. カンイェンキコ アナトール | 大臣 |
| Mr. NGENDAKURIYO Jean | Conseiller, Cabinet du Ministre |
| Mr. ンゲンダクリヨ ジャン | 大臣官房 顧問 |
| Mr. CIMPAYE Oscar | Attaché de Presse et Porte-parole du Ministre |
| Mr. チンパ イェ オスカー | プレス担当・大臣付き報道官 |

公共事業・設備省 道路局 (Office des Routes du MTPE)

| | |
|---------------------------|---|
| Mr. BUCUMI Moïse | Directeur Général de l'Office des Routes |
| Mr. ブチュミ モイス | 道路局 総局長 |
| Mr. RUBERINTWARI Léandre | Directeur des Travaux Routiers de l'Office des Routes |
| Mr. ルベリントワリ レアントール | 道路局 道路工事部長 |
| Mr. NDIKUMWAMI John | Chef de Cellule Coopération |
| Mr. ンディクムワミ ジョーン | 道路局 協力室長 |
| Mr. CISHAHAYO Seth | Chef de Service des Etudes et de la Planification |
| Mr. シスハヨ セット | 道路局 調査・計画課長 |
| Mr. NAHAYO Didace | Conseiller Technique, Direction des Travaux Routiers |
| Mr. ナハヨ デイダックス | 道路局 道路工事部 技術顧問 |
| Mr. MPAWENIMANA Jean Paul | Conseiller |
| Mr. ムパウエニマナ ジャンポール | 道路局 道路工事部 顧問 |
| Mr. GAHUNGA Vital | Conseiller Technique, Direction de la Planification |
| Mr. ガフンガ ヴィタル | 道路局 計画課 技術顧問 |
| Mr. MAMIRAKIZA Juvénal | Conseiller de Cellule de Coopération |
| Mr. マミラクィザ ジュヴェナル | 道路局 協力室顧問 |

公共事業・設備省 機材整備局 (Agence de Location du Matériel : ALM)

| | |
|---------------------|--------------------------|
| Mr. MISIGARO Michel | Directeur Technique, ALM |
| Mr. ミシガロ ミシェル | 機材整備局 技術部長 |

運輸・郵便・通信省 (Ministère des Transports, Postes et Télécommunications : MTPT)

Mr. NARAKWIYE Vital Directeur Général
Mr. ナラクウィエ ヴィタル 運輸総局長

財務省 官房室 (Chef du Cabinet du Ministre des Finances: Ministère des Finances)

Mr. NDAYIKEZA Joseph Chef du Cabinet du Ministre des Finances
Mr. シダイクザ ジョゼフ 財務大臣 官房長
Mr. NGENDAKUMANA Jacques Directeur General du Budget et Comptabilite Publique
Mr. シゲンダクマナ ジャック 財務省 予算・公共会計総局長

水・環境・国土整備・都市計画省 環境局 (Département de l' Environnement)

Ms. HAKIZIMANA Bernadette Directrice du Département de l' Environnement
Ms. ハキジマナ ヘルナデット 水・環境・国土整備・都市計画省 環境局長
Mr. NDIKUMUGISA Fabien Environnementaliste des Forêts et Territoires Tropicaux
Mr. ンディクムギシャ ファビアン 環境局 森林・熱帯地区環境専門家
Mr. UWAWGIRA Yves Conseiller
Mr. ウワウギラ イヴ 環境局 顧問

水・環境・国土整備・都市計画省 都市計画総局 (Direction Générale de l' Urbanisme)

Mr. BUCUMI Pasteur Directeur Général de l' Urbanisme et de l' Habitat
Mr. ブチュミ パストゥール 水・環境・国土整備・都市計画省 都市計画総局長
Mr. NTAKABURIMVO Déogratias Directeur de l' Habitat
Mr. ンタカブリンヴォ テオグラシアス 水・環境・国土整備・都市計画省 住宅局長

財務省 税務局 収税課 (Service des Recettes, Département des Impôts, Ministère des Finances)

Mr. NDEREYMANA Paul Chef de Service des Recettes
Mr. ンデレイマナ ポール 財務省 税務局 収税課長

財務省 税務局 収税課 車両係 (Section Véhicule, Service Recettes, Département des Impôts)

Ms. NDUWIMANA Ancilla Chef de Section Véhicule
Ms. ンデュイマナ アンシラ 財務省 税務局 収税課 車両係長

ブジュンブラ港湾局 (Port de Bujumbura)

運輸・郵政・通信省 国際運輸局 (Département des Transports Internationaux, MTPT)

Mr. KARIKURUBU Emmanuel Chef de Service des Transports Internationaux, MTPT
Mr. カリクルブ エマニュエル 運輸・郵政・通信省 国際運輸局 国際運輸課長
Mr. DUKUNDANE Dieudonné Conseiller, MTPT
Mr. デュクンダネ ディウトネ 同顧問

財務省 関税局 情報処理課 (Service Informatique, Direction des Douanes, MF)

Mr. NDONKEYE Parfait Chef de Service Informatique, Direction des Douanes, MF
Mr. ンドンケイエ パルフェ 財務省 関税局 情報処理課長

ブジュンブラ市技術局 (Régie des Services Techniques Municipaux : SETEMU)

Mr. BARAMPAMA Rémy Directeur Général des SETEMU
Mr. バランパ マレミ SETEMU 総局長
Mr. MUSAVYU Célestin Directeur Technique des SETEMU
Mr. ムサヴィ セレストン SETEMU 技術部長
Mr. MINANI Bonaventure Chef de Département Eaux Usées, SETEMU
Mr. ミナニ ボナヴァンテュール SETEMU 技術部 下水課長

ロヘロ地区

Mr. NGOMIRAKIZA Patrice Administrateur de la Commune ROHERO
Mr. ノゴミラクィザ パトリス ロヘロ地区長

水・電気生産・供給公団 (Régie de Production et de Distribution d' Eau et d' Electricité : REGIDESO : レジデゾ)

Mr. NDARURINZA Jean Marie Directeur de l' Eau de REGIDESO
Mr. ンダールンザ ジャンマリ REGIDESO 水局長
Mr. KARORERO Eugène Chef de Service Exploitation Electricité
Mr. カロレロ ユージェニス REGIDESO 送配電課長

ブルンジ通信公社 (Office National des Télécommunications du Burundi : ONATEL)

Mr. VONDORO Rédempteur Chef de Service des Lignes
Mr. ヴォントロ レダントウル ONATEL 電話配線課長

現地コントラクター

ソジェア・サトム社 ブルンジ事務所 (SOGEA SATOM BURUNDI)

Mr. ICHE Julien Directeur Administratif et Financier
Mr. イッシェ ジュリアン ソジェア・サトム社 ブルンジ事務所 財務部長
ジェトラ社

Mr. NDEREYIMANA Albert General Manager, GETRA
Mr. ンデレイマナ アルベール GETRA 社 ジェネラル・マネージャー
ベルコ社

Mr. SABBAS Pantaléon Directeur, BERCO
Mr. サッバス パンタレオン ベルコ社 代表
アムサール社

Mr. BEDETSE Bede Administrateur-Directeur Général, AMSAR
Mr. ベデトセ ベデ AMSAR 社 代表管理者
Mr. LWAKA Muganza Directeur Administratif et Financier, AMSAR
Mr. ルワカ ムガンザ AMSAR 社 財務部長

現地コンサルタント (現地再委託)

ジェオシ社

Mr. DUDI Didace Directeur de GEOSCI
Mr. デュディディダックス GEOSCI 社 代表
ベストラ社

Mr. NDUWAYO Alexis Ingénieur Géotechnicien, BESTRA
Mr. ンデュウヨ アレクシス BESTRA 社 地質エンジニア
ソジェマ社

Mr. NDAYIZEYE Egide Directeur de SOGEMA, sa.
Mr. ンダイヤイェ エジット SOGEMA 社 代表

動植物園 (Le Musée Vivant)

Mr. MANIRAKIZA Nestor Gestionnaire du Musée
Mr. マニラクィザ ネストール 動植物園管理者
Mr. BAMZUBAZE Christoph Conservateur du Musée
Mr. バムズバゼ クリストフ 動植物園学芸員

青少年・スポーツ・文化省 文化総局 (Direction Générale de la Culture et des Arts du MJSC)

Mr. NDIHOKUBWAYO Rénovat Directeur de la Culture
Mr. ンディホクブワヨ レノヴァ 青少年・スポーツ・文化省 文化・芸術総局 文化局長
Mr. BATUNGWANAYO Richard Conseiller à la Direction Générale de la Culture
Mr. バトゥングワナヨ リシャル 青少年・スポーツ・文化省 文化・芸術総局付き顧問
Mr. NAHIMANA Ernest Chef de Service Musées, Sites Historiques et Monuments
Mr. ナヒマナ エルネスト 文化・芸術総局 文化局 博物館・歴史地区・記念建造物課長

4. 討議議事録 (M/D)

a) インセプション・レポート説明・協議(準備調査第1次現地調査時)

ブルンジ共和国
ブジュンブラ市内交通網整備計画準備調査
協議議事録

ブルンジ共和国（以下「ブ国」という）政府の要請に基づき、日本国政府は「ブルンジ共和国ブジュンブラ市内交通網整備計画」（以下「プロジェクト」という）に関する準備調査の実施を決定し、その実施を独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」という）に委託した。

JICA は、JICA 経済基盤開発部 運輸交通・情報通信第二課 課長内藤智之を団長とする調査団（以下「調査団」という）を派遣し、2009年5月12日から6月10日まで同国に滞在し調査を行う予定である。

協議および現地調査の結果、双方は付属書に記述された主要事項について確認した。

2009年5月19日 ブジュンブラ

内藤 智之
団長
準備調査団
JICA

ブチュミ モイーズ
道路総局長
公共事業・設備省
ブルンジ共和国

カンイエンキコ アナトール
大臣
公共事業・設備省
ブルンジ共和国

付 属 書

1. 目的

本計画は、ブジュンブラ市内の主要幹線道路の一部を整備することにより、交通渋滞を緩和し、円滑な交通を可能にすることを目的とする。

2. 調査対象地域

本計画の調査対象地域はブ国ブジュンブラ市である。調査対象位置図を別添1に示す。

3. 主管官庁および実施機関

本計画の主管官庁は公共事業・設備省であり、実施機関は同省道路局である。組織図を別添2に示す。

4. 要請内容

調査団との協議の結果、ブ国から要請された内容を以下のとおり確認した：

- ・ Av. de la Plage の一部約 1.5km の道路拡幅（4車線）、歩道の整備、付帯する排水側溝等の整備。
- ・ Av. du 13 Octobre の一部約 0.5km の道路拡幅（4車線）、歩道の整備、付帯する排水側溝等の整備。
- ・ Av. du Large の一部約 1.0km の道路拡幅（4車線）、歩道の整備、付帯する排水側溝等の整備。
- ・ Bld. Yaranda 約 1.4km の道路改修（4車線）、付帯する排水側溝等の整備。
- ・ Bld. Yaranda 道路と Bld. du 28 Novembre との取り付け部の交差点（Round About）の整備

JICA は要請の妥当性を検証し、その結果を日本国政府に報告する。

5. 無償資金協カスキーム

- (1) ブ国側は、調査団から別添3のとおり説明された日本の無償資金協カスキーム及びブ国側による必要手続きを理解した。
- (2) ブ国側は、日本の無償資金協カ実施の条件として事業の円滑な実施のために別添4に記載の負担事項を実施することを約束した。

6. 調査予定

- (1) 調査団のコンサルタント団員は、引き続き2009年6月10日までブ国における現地調査を継続する。
- (2) ブ国側は2009年6月3日までに質問票の回答を調査団に提出する。
- (3) 調査団は準備調査報告概要書を仏語で作成し、その説明調査団を2009年10月下旬頃にブ国に派遣する。
- (4) 準備調査報告概要書の内容がブ国政府により原則了承されれば、JICAが最終報告書を作成し、2009年12月頃にブ国に送付する。

7. その他協議事項

- (1) 本プロジェクトの計画が周囲の環境に負の影響を及ぼす場合には、ブ国側が自国内の法規、規定に基づき、環境その権限の中に所管する省庁と協議のうえ、計画実施にかかる環境影響評価（EIA）の承認を得ることが前提条件となることを説明し、ブ国側はこれを理解した。
- (2) ブ国側は、本プロジェクトにより整備される道路にかかる竣工引渡し後の運営維持管理に関し、公共事業・設備省道路局が、その責任を負うことを確約した。

- (3) ブ国側は、地下埋設物や電柱等のユーティリティの移設にかかる費用と移設業務は、ブ国にて負担することを確約した。また、当該業務にかかるブ国内関係機関との必要な調整等についても、公共事業・設備省道路局が、その責任を負うことを確約した。
- (4) ブ国側は、本プロジェクトに使用される輸入資機材の通関手続きの便宜供与に必要な措置を講じることを確約した。仮に、通関業務の遅延が生じた場合には、公共事業・設備省が責任を持って、速やかに通関が行われるよう関係各省へ働きかけることを確約した。
- (5) ブ国側は、現地/第三国コントラクター/サプライヤーに発生する分を含む本プロジェクトに関する免税について、ブ国の現行の法律を順守する枠内で確実に実施することを確約した。
- (6) ブ国側は、工事期間中の交通規制等にかかる必要な広報を、適切に行うことを確約した。
- (7) ブ国側は、本件道路整備事業に必要な仮設ヤードの借地、工事に再利用不可能な資機材の処分場の確保等の用地確保を、ブ国側予算にて行うことを確約した。
- (8) ブ国側は、工事期間中の工事箇所周辺及び仮設施設の安全確保のため、契約当事者と協力して必要な対策を採ることを確約した。
- (9) 双方は、本件道路整備事業にかかる仕様書等、本計画に関連するあらゆる資料を入札終了まで関係者以外に開示しないことを確認した。
- (10) ブ国側は本計画の施工に必要な土地の収用を適切に行うことを確約した。この土用には本プロジェクト始点側の土地取得を含む。
- (11) ブ国側は調査団に対して以下の点に関する可能性を検討するよう要請した。
 - ・ブ国側カウンターパートの手当て
 - ・ブ国側カウンターパートの移動手段
 - ・使用された資機材のプロジェクト終了時の引き渡し調査団は上記懸念事項は日本の無償資金協力の枠内で解析される、と述べた。

- 別添： 1. 調査対象地域地図
2. 実施機関組織図
3. 日本の無償資金協カスキーム
4. 日本・ブルンジ両国政府による主な負担事項

**Procès-verbal des Discussions
sur
l'Etude du Concept de Base
de
l'Aide Financière Non Remboursable
pour
la Réhabilitation des Routes et des Infrastructures pour la ville de
Bujumbura
En République du Burundi**

En réponse à la requête du gouvernement de la République du Burundi (désignée ci-après « le Burundi »), le gouvernement du Japon a décidé de mettre en œuvre une étude du concept de base sur l'aide financière non remboursable pour la réhabilitation des routes et des infrastructures pour la ville de Bujumbura (désigné ci-après « le Projet ») et a confié à the Japan International Cooperation Agency « la JICA » d'effectuer cette étude.

Pour ce faire, la JICA a envoyé au Burundi, du 12 mai au 10 juin 2009, une mission d'étude conduite par Monsieur Tomoyuki NAITO, Directeur de la Division II du Transport et l'ICT II, Département de l'Infrastructure Economique de la JICA (désignée ci-après « la Mission »).

Pendant son séjour au Burundi, la Mission a eu une série de discussions avec les autorités compétentes burundaises et a effectué des études sur site dans les zones faisant l'objet de l'étude.

A l'issue des discussions et des études sur site, les deux parties ont confirmé les principaux points mentionnés dans les documents ci-joints : Appendice et Annexes.

Fait à Bujumbura le mai 2009


M. Tomoyuki NAITO
Chef de la Mission d'Etude
Japan International Cooperation Agency
(JICA)
Japon


Ir. Moïse BUCUMI
Directeur Général de l'Office des Routes
Ministère des Travaux Publics et de
l'Equipement
République du Burundi


Ir. Anatole KAMUKENKIA
Ministre
Ministère des Travaux Publics et de
l'Equipement (MTPE)
République du Burundi

Appendice

1. Objectif du Projet

Le présent Projet a pour objectif de permettre une circulation sans encombrement par le biais de l'aménagement d'une partie des routes principales de Bujumbura pour la décongestion du trafic dans la ville.

2. Zone faisant l'objet de l'étude

La zone faisant l'objet de l'étude du présent Projet est la ville de Bujumbura. La localisation de cette zone est mentionnée dans l'Annexe-1.

3. Institution responsable et Organe d'exécution

L'Institution responsable est le Ministère des Travaux Publics et de l'Équipement (MTPE) représentant le gouvernement du Burundi et l'Organe d'exécution du présent Projet est l'Office des Routes du MTPE. L'organigramme est mentionné dans l'Annexe-2.

4. Contenu de la Requête

Après les discussions avec la Mission, la requête présentée par la partie burundaise a été confirmée comme suit :

- Elargissement d'une partie de l'Avenue de la Plage, dont la longueur est d'à peu près 1,5km (4 voies de circulation), Aménagement des trottoirs et des ouvrages annexes tels que caniveau de drainage, etc.
- Elargissement d'une partie de l'Av. du 13 Octobre., dont la longueur est d'à peu près 0,5km (4 voies de circulation), Aménagement des trottoirs et des ouvrages annexes tels que caniveau de drainage, etc.
- Elargissement d'une partie de l'Av. du Large, dont la longueur est d'à peu près 0,5km (4 voies de circulation), Aménagement des trottoirs et des ouvrages annexes tels que caniveau de drainage, etc.
- Réhabilitation du Bld. Yaranda, dont la longueur est d'environ 1,4km (4 voies de circulation), Aménagement des ouvrages annexes tels que caniveau de drainage, etc.
- Aménagement du carrefour (type giratoire) au point du raccordement du Bld. Yaranda et du Bld. du 28 Novembre.

La JICA étudiera la pertinence de la requête et rendra compte des constatations au gouvernement du Japon.

5. Programme de l'aide financière non-remboursable du Japon

- 5-1. La partie burundaise a pris acte du programme de l'aide financière non-remboursable du Japon, expliqué par la Mission et mentionné dans l'Annexe-3.
- 5-2. La partie burundaise s'est engagée à prendre les mesures nécessaires, mentionnées dans l'Annexe-4, pour la bonne marche du Projet, comme les conditions de l'exécution de l'aide financière non-remboursable du Japon.

6. Calendrier de l'Étude

- 6-1. Le Consultant continuera la première phase de l'Étude jusqu'au 10 juin 2009 au Burundi.
- 6-2. La partie burundaise devra soumettre à la Mission les réponses au questionnaire avant le 3 juin 2009.
- 6-3. La JICA rédigera un rapport provisoire en français et enverra une mission d'étude chargée de l'explication du rapport provisoire au Burundi vers la fin octobre 2009.
- 6-4. Si la partie burundaise accepte en principe la teneur du rapport provisoire, la JICA établira le rapport final de l'étude du concept de base et le fera parvenir à la partie burundaise en décembre 2009.

7. Autres

7-1. La Mission a fait une explication suivante :

Si le présent Projet exerce une influence négative sur l'environnement, une Evaluation d'Impact sur l'Environnement (EIE) devra être approuvée par la partie burundaise, conformément aux lois et règlements du pays, et en concertation avec le Ministère ayant dans ses attributions l'environnement, afin d'obtenir l'approbation du Projet pour sa mise en œuvre. Cela constitue une condition préalable pour la mise en œuvre du Projet.

La partie burundaise a pris bonne note de cette explication.

7-2. La partie burundaise a confirmé que l'Office des Routes du Ministère des Travaux Publics et de l'Équipement assume toute la responsabilité sur la gestion et la maintenance des routes à aménager par le Projet.

7-3. La partie burundaise s'est engagée à prendre en charge les coûts et frais pour enlever et transférer les réseaux et les équipements routiers publics, tels que les réverbères, etc. En outre, l'Office des Routes devra assurer les coordinations nécessaires pour cet engagement avec les autorités concernées burundaises.

7-4. La partie burundaise s'est engagée à prendre les mesures nécessaires pour faciliter les formalités de dédouanement des matériaux et matériels à importer pour l'utilisation du Projet. En cas de retards au dédouanement, le Ministère des Travaux Publics et de l'Équipement devra assurer, sous sa responsabilité, la coordination avec les autorités concernées pour le dédouanement prompt.

7-5. La partie burundaise s'est engagée à exempter les entreprises locales/des pays tiers et les fournisseurs des droits de douane et des taxes à générer pour le Projet dans le cadre du respect des lois et règlements en vigueur.

7-6. La partie burundaise s'est engagée à assurer convenablement les relations publiques sur les réglementations du trafic, etc., pendant les travaux.

7-7. La partie burundaise s'est engagée à prendre en charge l'acquisition des terrains nécessaires pour l'aire provisoire des travaux, les sites de dépôt des matériaux non utilisables pour les travaux du Projet.

7-8. La partie burundaise s'est engagée à prendre les dispositions nécessaires pour assurer la sécurité des sites des travaux et les chantiers temporaires pendant les travaux en collaboration avec les parties contractuelles.

7-9. Les deux parties ont confirmé que tous les documents concernés par le présent Projet, tels que les spécifications, etc., ne doivent jamais être communiqués aux autres sauf pour les personnes concernées, avant la terminaison des soumissions.

7-10. La partie burundaise s'est engagée à acquérir d'une manière adéquate les terrains nécessaires pour les travaux du Projet. Cette acquisition des terrains comprend une obtention du terrain à côté du point de départ de Projet.

7-11. La partie burundaise a demandé à la Mission d'examiner la possibilité des points suivants :

. Prime des homologues burundais

. Moyen de déplacement des homologues burundais

. Remise à la fin du Projet des matériels et équipements utilisés

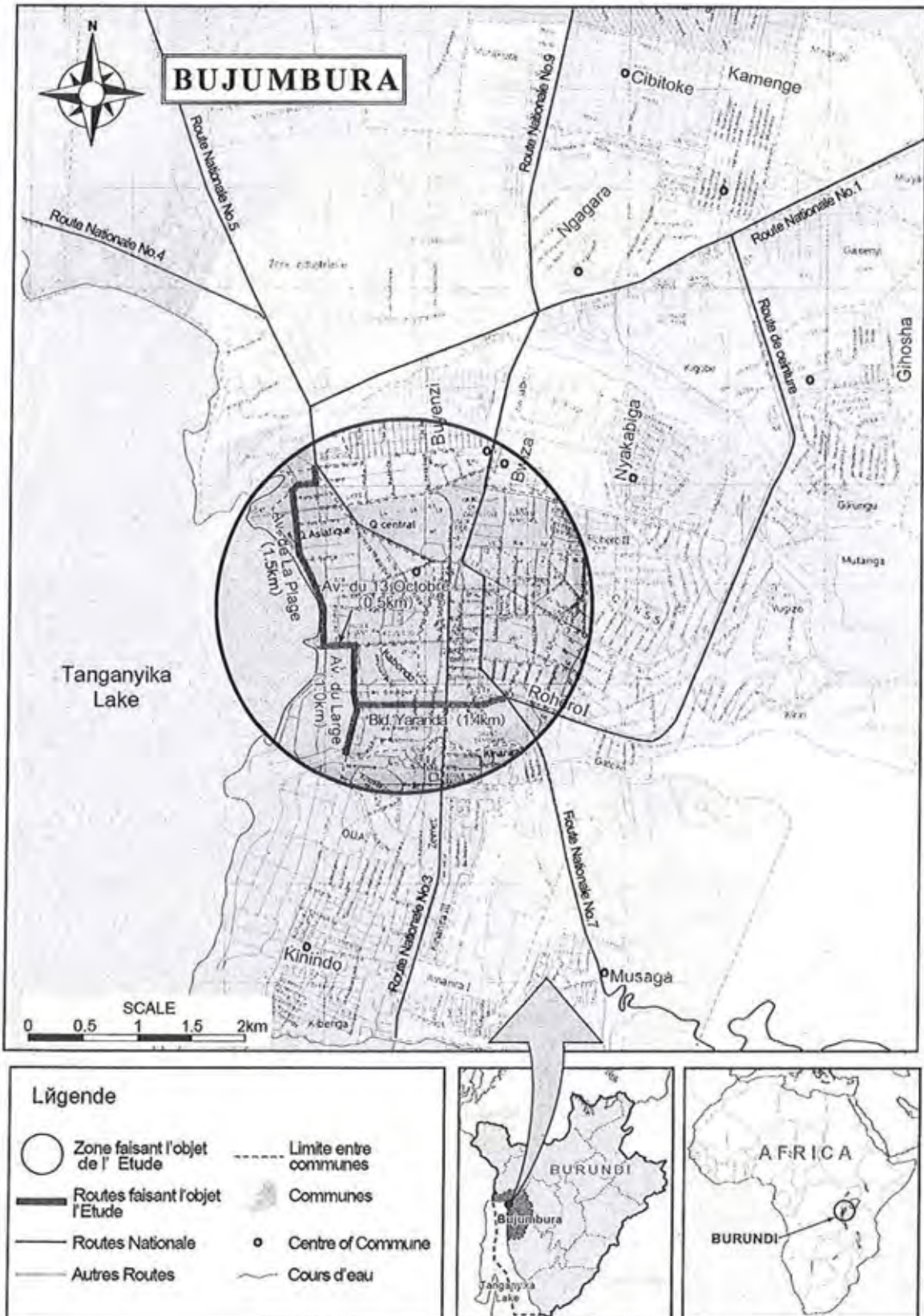
La Mission a exprimé que ces préoccupations seront analysées dans le cadre de l'aide financière non remboursable du Japon.

Annexe-1 : Carte de la localisation de la zone d'étude

Annexe-2 : Organigramme de l'Organe d'exécution

Annexe-3 : Programme d'aide financière non-remboursable du Japon

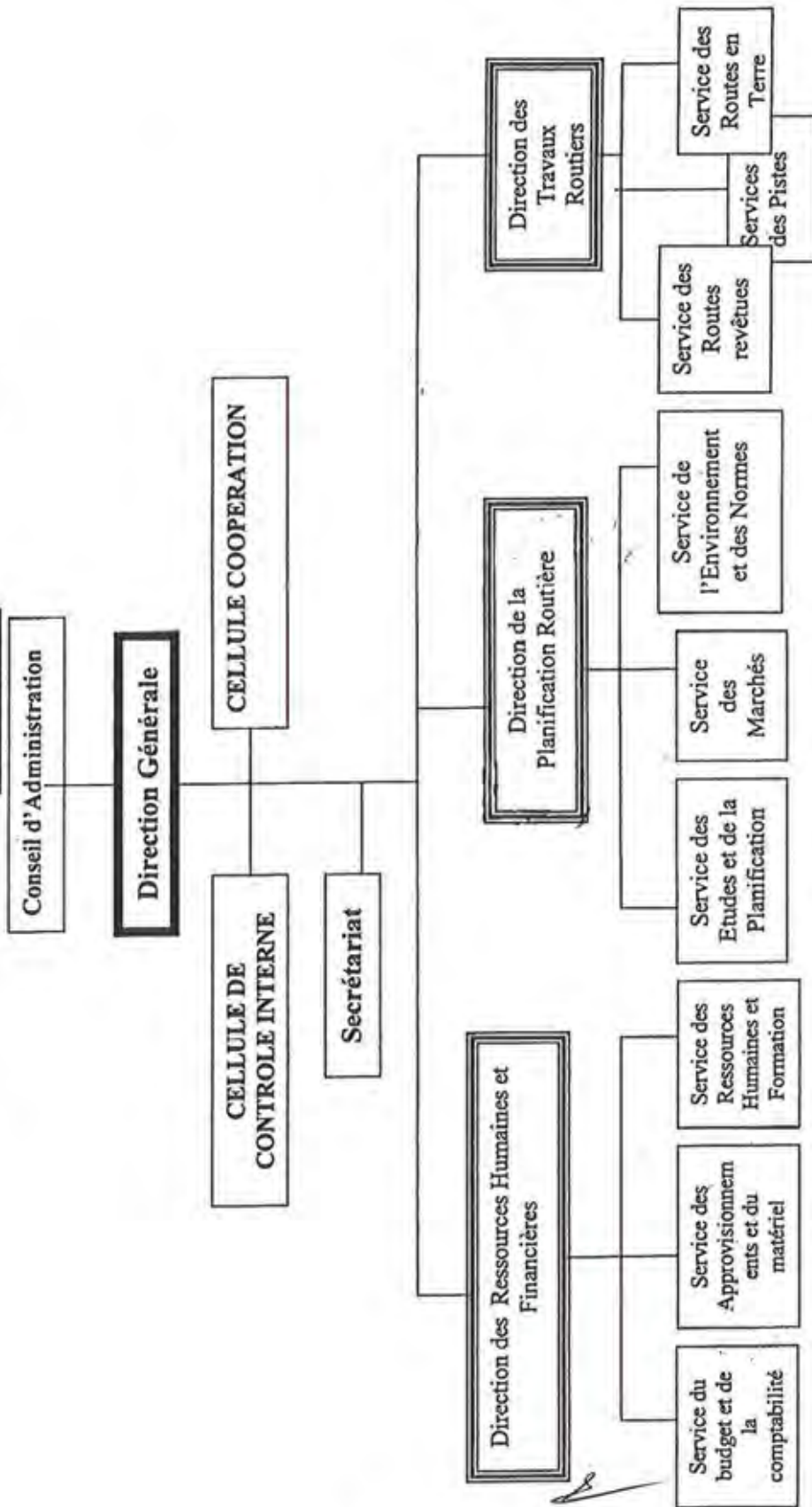
Annexe-4 : Principaux Travaux à exécuter par chaque gouvernement



Carte de localisation du Projet

ORGANIGRAMME DE L'OFFICE DES ROUTES

ROUTES



Annexe-2

2. 13

Aide Financière non Remboursable

L'Aide Financière non Remboursable accordée aux pays en voie de développement un financement qui ne nécessite pas de remboursement pour leur faire acquérir des installations, des équipements et des services (service d'ingénierie, transport des produits etc.) en vue de promouvoir le développement socio-économique desdits pays. L'Aide Financière non Remboursable ne sera pas effectuée sous forme de don en nature.

1. Procédure de l'Aide Financière non Remboursable

Le programme d'Aide Financière non Remboursable est exécuté selon la procédure suivante.

| | |
|---|---|
| Etude | (Etude préliminaire (ci-après désigné 'l'Etude') menée par la JICA) |
| Examen et Approbation | (Examen fait par le Gouvernement du Japon (ci-après désigné 'le GOJ') et Approbation faite par le conseil des ministres) |
| Prise de décision pour l'exécution | (Echange de Notes signé par les deux gouvernements) |
| Exécution | (Exécution suivant l'Accord de l'Aide Financière non Remboursable 'Grant Agreement' (ci-après désigné 'le G/A') conclu entre la JICA et le pays bénéficiaire) |

Premièrement, la JICA confie à un ou des bureau (x) d'étude japonais l'étude.

Deuxièmement, le GOJ examine le projet pour évaluer la faisabilité dans le cadre de l'Aide Financière non Remboursable du Japon en conférant le rapport établi par la JICA. Le résultat de l'examen est ensuite soumis au Conseil des Ministres pour l'approbation.

Troisièmement, une fois approuvé par le Conseil des Ministres, le projet est rendu officiel avec l'Echange de Notes (ci-après désigné 'le E/N') signé par le GOJ et le pays bénéficiaire.

Quatrièmement, la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire concluent le G/A pour le financement ainsi que pour l'assistance dans le cadre du lancement des appels d'offre, de la procédure des contrats etc.

2. Etude préliminaire

(1) Contenu de l'Etude

Le but de l'Etude est de fournir au GOJ les données de base nécessaires pour examiner le projet. Est ci-après le contenu :

- Vérifier l'arrière-plan, l'objectif et les effets du projet ainsi que la capacité institutionnelle des organismes concernés du pays bénéficiaire pour l'exécution du

Projet.

- Evaluer la faisabilité du Projet dans le cadre du programme de l'Aide Financière non Remboursable du point de vue technique, financier, social et économique.
- Confirmer les points convenus entre les deux parties pour le concept de base du Projet.
- Elaborer un plan de base du Projet.
- Estimer les coûts du Projet.

Le contenu de la requête n'est pas nécessairement approuvé en tant que contenu du projet de l'Aide Financière non Remboursable. Le plan de base du Projet est vérifié selon les directives du programme de l'Aide Financière non Remboursable du Japon.

Le GOJ demandera au gouvernement du pays bénéficiaire de prendre toutes les mesures nécessaires pour assurer son initiative pendant la période de l'exécution du Projet. Ces mesures devront être prises même si elles ne relèvent pas de la compétence de l'organisme d'exécution du Projet dans le pays bénéficiaire. L'exécution du Projet sera donc confirmée par tous les organismes concernés du pays bénéficiaire à travers le Procès verbal des discussions.

(2) Choix d'un ou des bureau (x) d'étude

Pour une bonne exécution de l'étude, la JICA confie à un ou des bureau(x) d'étude enregistré(s). Elle sélectionne un ou des bureau (x) d'étude suivant les offres soumises par les bureaux d'étude intéressés. Le ou les bureau (x) d'étude sélectionné(s) mènera (ou mèneront) l'Etude et rédigera (ou rédigeront) le rapport conformément aux termes de référence élaborés par la JICA.

La JICA recommandera le ou les bureau (x) d'étude sélectionné (s) pour l'Etude au pays bénéficiaire pour l'exécution du Projet après l'E/N et le G/A en vue de maintenir une cohérence technique.

3. Programme de l'aide financière non-remboursable du Japon

(1) L'E/N et le G/A

Lorsque le projet proposé par le pays bénéficiaire est approuvé par le GOJ, l'E/N est signé par le GOJ et le gouvernement du pays bénéficiaire, suivi du G/A entre la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire en vue de définir les conditions nécessaires pour exécuter le projet, à savoir la modalité de paiement, les devoirs à accomplir du gouvernement du pays bénéficiaire et la modalité d'acquisition.

(2) Acquisition des produits et des services

Dans le cadre de l'aide financière non-remboursable du Japon, les produits et les services japonais, y compris le transport ou ceux du pays bénéficiaire, sont acquis en principe. Lorsque la JICA et le gouvernement du pays bénéficiaire ou le représentant désigné par ce dernier le jugent nécessaire, les produits et les services peuvent être fournis par un tiers pays. Par contre, l'entreprise principale, soit le constructeur, soit le fournisseur, et le bureau d'étude principal devront être de nationalité japonaise.

(3) Vérification

Le contrat en yen japonais, signé par le gouvernement du pays bénéficiaire ou son

représentant et par une entreprise de nationalité japonaise nécessite la vérification de la JICA. Car la ressource financière de l'Aide Financière non-Remboursable est alimentée par les contribuables japonais.

(4) Mesures qui sont prises par le gouvernement du pays bénéficiaire

Lors de l'exécution du projet, le pays bénéficiaire devra prendre les mesures nécessaires mentionnées dans l'Annexe-4.

(5) "Usage adéquat"

Le gouvernement du pays bénéficiaire devra disposer du personnel afin que les équipements fournis dans le cadre de l'Aide Financière non-Remboursable soient maintenus et utilisés convenablement et efficacement pour l'exécution du Projet. Il devra également prendre en charge les frais nécessaires pour la gestion et la maintenance à l'exception des frais couverts dans le cadre de l'Aide Financière non-Remboursable.

(6) "Exportation et Réexportation"

Les produits fournis dans le cadre de l'Aide Financière non-Remboursable ne devront pas être réexportés par le pays bénéficiaire.

(7) Arrangement Bancaire (A/B)

a) Le gouvernement du pays bénéficiaire ou son représentant devra ouvrir un compte bancaire à son nom dans une banque au Japon (ci-après dénommée la "Banque"). La JICA exécutera l'Aide Financière non-Remboursable en procédant au versement en Yen japonais à ce compte afin que le gouvernement du pays bénéficiaire ou son représentant puisse prendre les mesures nécessaires conformément au contrat vérifié.

b) Le versement sera effectué lorsque la Banque présente une demande de paiement à la JICA conformément à l'Autorisation de Paiement émise par le gouvernement du pays bénéficiaire ou de son représentant.

8) Autorisation de Paiement (A/P)

Le Gouvernement du pays bénéficiaire devra prendre en charge la commission de notification de l'autorisation de paiement et la commission de paiement.

9) Considérations environnementale et sociale

Le pays bénéficiaire devra assurer les considérations environnementale et sociale pour l'exécution du Projet et respecter la réglementation environnementale du pays bénéficiaire et les directives socio-environnementales de la JICA.

Principaux Travaux à exécuter par chaque gouvernement

| No. | E L E M E N T S | Couvert par le Japon | Couvert par le pays bénéficiaire |
|-----|---|----------------------|----------------------------------|
| 1 | Acquisition de l'emprise de voie et du terrain nécessaire pour la construction de l'aire des travaux, le dépôt de matériels, le bureau sur site, des déviations, etc., et Déplacement des maisons et des obstacles dans l'emprise de voie et le terrain acquis | | ● |
| 2 | Dégagement, nivellement et aménagement du terrain, si nécessaire | | ● |
| 3 | Construction de portes et de murs aux sites et autour des sites | | ● |
| 4 | Prise en charge des commissions suivantes de la banque de change japonaise pour les services bancaires basés sur les arrangements bancaires (A/B) | | |
| | 1) Commission de notification de l'autorisation de paiement (A/P) | | ● |
| | 2) Commission de paiement | | ● |
| 5 | Déchargement et Dédouanement au port de débarquement du Burundi | | |
| | 1) Transport vers le pays bénéficiaire par mer (air) de produits originaires du Japon | ● | |
| | 2) Exonération d'impôts et dédouanement des produits au port de débarquement du pays bénéficiaire | | ● |
| | 3) Transport interne du pays entre le port de débarquement et le site | ● | ● |
| 6 | Accorder aux ressortissants japonais dont les services pourraient être requis dans le cadre de la fourniture des produits ou dans le cadre du contrat toute l'aide nécessaire pour assurer leur arrivée dans le pays bénéficiaire et y permettre leur séjour afin qu'ils puissent exécuter lesdits services | | ● |
| 7 | Exonérer les ressortissants japonais de droits de douane, taxes intérieures et/ou autres levées fiscales imposées au Burundi eu égard à la fourniture des produits et des services spécifiés dans les contrats vérifiés | | ● |
| 8 | Exploitation en maintenance correcte et efficace des installations construites et des équipements fournis dans le cadre de l'aide financière non-remboursable | | ● |
| 9 | Prise en charge de toutes dépenses, autres que celles couvertes par l'aide financière non-remboursable, nécessaires à la construction des installations et au transport et montage des équipements | | ● |

(A/B : Arrangement Bancaire, A/P ; Autorisation de Paiement)

b) 討議議事録(準備調査第3次現地調査時)

ブルンジ共和国
ブジュンブラ市内交通網整備計画準備調査(第3次)
協議議事録

ブルンジ共和国(以下「ブ国」という)政府の要請に基づき、日本国政府は「ブルンジ共和国ブジュンブラ市内交通網整備計画」(以下「プロジェクト」という)に関する準備調査の実施を決定し、その実施を独立行政法人国際協力機構(以下「JICA」という)に委託した。

JICAは2009年5月に調査を開始し、先方負担事項について、2009年5月19日付協議議事録にて基本合意を行い、2009年8月21日付テクニカルノートにて、調査団が提示する先方負担事項実施額にて予算申請を行う旨合意した。

今般JICAブルンジフィールドオフィスに対し、「ブ」国側より予算確保額の連絡が為されたものの、先方負担事項の実施が極めて困難となる金額であったため、JICAは、JICA経済基盤開発部 運輸交通・情報通信第二課 調査役 糸山大志及びコンサルタントによる第3次調査団(以下「調査団」という)を2009年10月27日から10月30日まで同国に派遣し、先方負担事項に係る調査を行った。

協議および現地調査の結果、双方は付属書に記述された主要事項について確認した。

2009年10月29日 ブジュンブラにて

糸山 大志
計画管理
準備調査団
JICA

ブチュミ モイーズ
道路総局長
公共事業・設備省
ブルンジ共和国

カンイエンキコ アナトール
大臣
公共事業・設備省
ブルンジ共和国

付 属 書

- ・ 調査団及び「ブ」側双方は、現在、「ブ」国側で負担可能な金額が1億FBuであることを確認した。
- ・ 調査団及び「ブ」側双方は、「ブ」国側で負担可能な金額が1億FBuでは、2009年8月21日付テクニカルノート記載の先方負担全事項の実施が極めて困難であることを確認した。
- ・ 調査団及び「ブ」側双方は、本件資金協力による道路建設に伴い地下埋設物移設を行う場合、それにかかる移設工事は、本件資金協力の「ブ」国側負担の予算内で実施されなければならないことを確認した。さらに双方は、プロジェクトに対する「ブ」国側負担金額が不十分であること、したがって、移設は非常に困難であることを確認した。
- ・ 調査団は、「ブ」国側へ対して地下埋設物の移設を必要としない計画を提案し、「ブ」国側はこれを了承した。さらに、調査団は現設計において既設埋設物が工事実施の支障とならないことを説明し、「ブ」国側は、地下埋設物移設が必要でないことを確認した。「ブ」国側実施機関は原則これを了承するとともに各埋設物管理者と協議・調整を行うことを合意した。
- ・ なお、「ブ」国側実施機関は上記協議・調整にあたり、日本側から、本件資金協力に伴う工事によって地下埋設物の移設の必要性がないこと、また工事によって埋設物に破損を生じさせない旨の説明レターの発出、および日本側による埋設物の防護措置、維持管理用のマンホール等の設置を要望した。これに対し調査団は持ち帰り検討する旨回答した。
- ・ 調査団及び「ブ」側双方は、本年5月19日付ミニッツ記載の先方負担経費について、銀行手数料については、「ブ」国側が本プロジェクトに充てられた「ブ」側予算の中から負担することを確認した。
- ・ 調査団及び「ブ」側双方は、本年8月21日に取り交わしたテクニカルノートに記載の先方負担経費について、照明用1次電源設置費用については、コスト削減を目的として、主要7箇所のみでの設置とする設計に合意し、その設置費用については、「ブ」国側で負担することを確認した。
- ・ 「ブ」国側は、本年8月21日に取り交わしたテクニカルノートに記載の先方負担経費について、樹木及び看板等の地上障害物撤去につき、日本の無償資金協力のスキームを改めて理解し、調査団及び「ブ」側双方は撤去に係る補償及び撤去実施については、「ブ」国側で負担することを確認した。なお、「ブ」国側はこの件の実施に必要な期間について、2009年11月中旬までにJICAブルンジフィールド事務所を通じ日本側へ通知することを約束した。
- ・ 調査団及び「ブ」側双方は、本プロジェクト実施のための土地収用については、「ブ」国側の負担の元に行われることを確認した。
- ・ 「ブ」国側より、「ブ」国側負担を軽減するために2009年5月19日の協議議事録で合意した対象道路について、Large道路を北上しNovember 1道路に接続するルートに変更したい旨の要望があった。この要望への回答として、調査団は「ブ」国側に対して書面による要請を提出するように要請し、この要請受領後二週間以内にJICAブルンジフィールド事務所を通じ回答することとした。

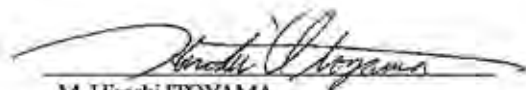
**Procès-verbal des Discussions
sur
l'Etude du Concept de Base
de
l'Aide Financière Non Remboursable
pour
la Réhabilitation des Routes et des Infrastructures pour la ville de
Bujumbura
en République du Burundi**

En réponse à la requête du gouvernement de la République du Burundi (désignée ci-après « le Burundi »), le gouvernement du Japon a décidé de mettre en œuvre une étude du concept de base sur l'aide financière non remboursable pour la réhabilitation des routes et des infrastructures pour la ville de Bujumbura (désigné ci-après « le Projet ») et a confié à the Japan International Cooperation Agency « la JICA » d'effectuer cette étude.

La JICA a entamé cette étude au mois de mai 2009, et les deux parties se sont mises d'accord sur les tâches à la charge de la partie burundaise dans le Procès-verbal des discussions signé le 19 mai 2009. Sur la base de ce Procès-verbal des discussions, la partie burundaise s'est engagée, dans les Notes Techniques signées le 21 août 2009, à adresser une demande du budget nécessaire à la réalisation de ses tâches dont le montant a été estimé par la Mission d'étude japonaise.

La partie burundaise a informé récemment le Bureau de la JICA au Burundi du montant du budget assuré. Cependant, étant donné qu'il est très difficile de couvrir toutes ces tâches avec ce montant, la JICA a envoyé au Burundi, du 27 au 30 octobre 2009, la troisième mission d'étude constituée de Monsieur Hiroshi ITOYAMA, Directeur Adjoint de la Division II du Transport et l'ICT II, Département de l'Infrastructure Economique de la JICA et de l'équipe du Consultant (désignée ci-après « la Mission ») pour mener une étude sur les tâches à la charge de la partie burundaise.

A l'issue des discussions et des études sur site, les deux parties ont confirmé les principaux points mentionnés dans le document ci-joint : Appendice.



M. Hiroshi ITOYAMA
Coordinateur du Projet
Mission d'étude du concept de base
JICA, Japon

Fait à Bujumbura le 29 Octobre 2009



Ir. Moïse BUCUMU
Directeur Général de l'Office des Routes
Ministère des Travaux Publics et de
l'Équipement
République du Burundi



Ir. Anatole KANYENKIKO
Ministre des Travaux Publics et de l'Équipement
République du Burundi

Appendice

- Les deux parties ont confirmé que le budget disponible de la partie burundaise est de cent millions de Fbu (100 000 000 Fbu).
- Les deux parties ont confirmé qu'il est très difficile de couvrir toutes les tâches à la charge de la partie burundaise, figurant dans les Notes Techniques signées le 21 août 2009, avec le montant disponible de cent millions de Fbu (100 000 000 Fbu).
- Les deux parties ont confirmé que, au cas où les réseaux souterrains seraient déplacés dans le cadre du Projet, la partie burundaise devrait prendre en charge ce déplacement. En outre elles ont confirmé que le budget accordé au titre de la contrepartie de ce Projet est insuffisant, et que par conséquent le déplacement ne sera pas possible.
- La partie japonaise a proposé à la partie burundaise le plan qui ne nécessite pas le déplacement des réseaux et cette dernière l'a accepté. En plus, la partie japonaise a expliqué à la partie burundaise que les réseaux souterrains actuels n'empêchent pas l'exécution des travaux routiers et elle lui a confirmé que le déplacement des réseaux ne soit pas nécessaire pour le Projet. L'organe d'exécution du Projet du côté burundais l'a accepté en principe et s'est engagé à faire les discussions et la coordination avec les concessionnaires des réseaux.
- Pour les discussions et les coordinations ci-dessus, la partie burundaise a demandé à la partie japonaise de préparer une lettre qui confirme que les travaux du Projet ne nécessitent pas le déplacement des réseaux et n'endommagent pas ces derniers, mais que des mesures de protection et des regards pour la maintenance, etc., seront mis en place. La partie japonaise a répondu à la partie burundaise que ces demandes seront examinées au Japon.
- Les deux parties ont confirmé que les commissions bancaires figurant dans le Procès-verbal des discussions signé le 19 mai 2009 devront être prises en charge par la partie burundaise dans le cadre de sa contrepartie au financement du Projet.
- En ce qui concerne l'installation de la première source électrique de l'éclairage routier (tableaux de distribution), figurant dans les Notes Techniques signées le 21 août 2009, dans le but de réduire les coûts, les deux parties se sont convenues sur l'installation de ces tableaux de distribution aux sept principales intersections et elles ont confirmé que la partie burundaise prendra en charge cette installation.
- En ce qui concerne l'enlèvement des arbres, des panneaux de publicité, etc., comme obstacles sur le sol, figurant dans les Notes Techniques signées le 21 août 2009, la partie burundaise a pris bonne note à nouveau du programme de l'aide financière non remboursable du Japon. Les deux parties ont confirmé que l'indemnisation relative à cet enlèvement et l'exécution des travaux d'enlèvement de ces obstacles sont à la charge de la partie burundaise. D'autre part, la partie burundaise s'est engagée à informer le Bureau de la JICA au Burundi du délai nécessaire pour cet enlèvement avant la mi-novembre 2009.
- Les deux parties ont confirmé que l'expropriation pour le Projet sera à la charge de la partie burundaise.



1

- En ce qui concerne les routes de projet sur lesquelles les deux parties se sont convenues dans le Procès-verbal des discussions signé le 19 mai 2009, la partie burundaise a exprimé son souhait que l'Avenue du Large soit prolongée en passant le Musée Vivant jusqu'au raccordement avec le Bld. du 1^{er} Novembre. En réponse à ce souhait, la partie japonaise a demandé à la partie burundaise de présenter une requête par écrit et elle lui donnera sa réponse via le Bureau de la JICA au Burundi dans un délai de deux semaines après la réception de cette requête.



ブルンジ共和国
ブジュンブラ市内交通網整備計画 基本設計概要説明調査
協議議事録

2009年5月に国際協力機構（以下「JICA」と称す）は、ブジュンブラ市内交通網整備計画（以下「計画」）に関する基本設計調査団をブルンジ共和国（以下：「ブ国」）に派遣し、ブ国政府関係者との協議、現地調査及び日本での解析を踏まえ、基本設計概要書を取りまとめた。

JICA は、ブ国側に基本設計概要を説明し、協議を行うために、JICA 経済基盤開発部 運輸交通・情報通信第二課 課長 本村洋を団長とする基本設計概要説明調査団（以下「調査団」）を2010年1月28日から2月5日までブ国へ派遣した。

協議の結果、調査団とブ国側の双方は付属書に記述された主要事項について確認した。

2010年2月4日 ブジュンブラにて

本村 洋
団長
基本設計概要説明調査団
JICA

ルベリントワリ レアンドル
道路総局長
公共事業・設備省
ブルンジ共和国

カンイエンキコ アナトール
大臣
公共事業・設備省
ブルンジ共和国

付 属 書

1. 基本設計概要の内容

ブ国側は、調査団より提示された基本設計概要書の内容について原則同意した。なお、ブ国側より調査団に対して交差点や基準等の点について考慮するよう要望があった。双方はこれらの点を詳細設計時に基本設計に応じて検討する旨、合意した。

2. 日本国の無償資金協カスキーム

ブ国側は本調査団から別添 1 の通り説明されたブ国側の負担事項について理解した。

3. 今後の予定

JICA は、合意された内容に基づき、基本設計調査報告書を作成し、2010 年 3 月頃にブ国側に送付する。

4. プロジェクトコスト

別添 2 に記載されているプロジェクトコストはコンフィデンシャルであり、プロジェクト関連の全ての契約署名まで第三者へ開示してはならない。

5. その他

5 - 1. ブ国側は、日本国の無償資金協力実施の前提条件として、以下の負担について十分な予算を確保することとする：

- (1) 土地収用
- (2) 障害物撤去
- (3) 道路照明用電源設置
- (4) B/A に関する銀行手数料
- (5) A/P 発行に関する手数料

5 - 2. ブ国側は、日本国の無償資金協力実施の前提条件として、時宜を得てプロジェクトに対する免税手続きを確保することを約束した。

5 - 3. ブ国側は、プロジェクトによって整備された道路及びインフラの活用及びメンテナンスのために十分な予算と必要な人員を確保することを約束した。

5 - 4. ブ国側は、別添 3 のレターに記載されているように、工事実施(入札 2010 年 12 月予定)に支障ないよう用地確保をするために、関係者と協議・調整することを約束した。

5 - 5. ブ国側は工事実施に支障となるような地下埋設物および建造物があらたに埋設または建設されないよう、関係諸機関と協議・調整することを約束した。

別添 1：両国政府の主要負担事項

別添 2：プロジェクトコスト

別添 3：2009年12月11日付け都市計画大臣レター770/1879/CAB/2009号写し

Major Undertakings to be taken by Each Government

| No. | Items | To be covered by Grant Aid | To be covered by Recipient side |
|-----|--|----------------------------|---------------------------------|
| 1 | To secure land | | ● |
| 2 | To clear, level and reclaim the site when needed | | ● |
| 3 | To bear the following commissions to a bank of Japan for the banking services based upon the B/A | | |
| | 1) Advising commission of A/P | | ● |
| | 2) Payment commission | | ● |
| 4 | To ensure prompt unloading and customs clearance at the port of disembarkation in recipient country | | |
| | 1) Marine(Air) transportation of the products from Japan to the recipient country | ● | |
| | 2) Tax exemption and custom clearance of the products at the port of disembarkation | | ● |
| | 3) Internal transportation from the port of disembarkation to the project site | ● | |
| 5 | To accord Japanese nationals whose services may be required in connection with the supply of the products and the services under the verified contract such facilities as may be necessary for their entry into the recipient country and stay therein for the performance of their work | | ● |
| 6 | To exempt Japanese nationals from customs duties, internal taxes and other fiscal levies which may be imposed in the recipient country with respect to the supply of the products and services under the verified contract | | ● |
| 7 | To maintain and use properly and effectively the facilities constructed and equipment provided under the Grant Aid | | ● |
| 8 | To bear all the expenses, other than those to be borne by the Grant Aid, necessary for the transportation and installation of the equipment | | ● |

| |
|--------------|
| CONFIDENTIAL |
|--------------|

Project Cost to be Borne by Japan's Grant Aid

「施工・調達業者契約認証まで非公表」

(2) Cost borne by the Government of Burundi

Total Cost approximately 599.6 Million FBu (Approximately 46.6 Million Yen)

The items and costs borne by the Ministry of Public Works and Facilities are 1) – 3) as follows;

| | |
|---|--|
| 1) Bank Commission | 43.0 Million FBu (app. 3.3 Mil.Yen) |
| 2) Demolition Cost of Obstacles on the Ground | 39.4 Million FBu (app. 3.1 Mil.Yen) |
| 3) Cost of Electric Distribution Facility <u>for the Road lighting</u> | <u>17.2 Million FBu (app. 1.3 Mil.Yen)</u> |
| Total | 99.6 Million FBu (app. 7.7 Mil.Yen) |

Note: “The Land Acquisition, Demolition and Reconstruction of House facilities”, which amount is tentatively estimated at 500 million FBu by the Burundi side, will be ensured by the Ministry

in charge of the Urban Planning, as stated in the Letter dated 11/12/2009, issued by the Ministry of Water, Environment, Country Planning and Urbanism, in N/Ref: 770/1879/CAB/2009. (A copy of this Letter is attached in Annex-3.)

(3) Conditions in Cost Estimate

- 1) Time of Cost Estimate : June, 2009
- 2) Exchange Rate : 1US Dollar = 95.69 Yen 1 FBU=0.08 Yen
- 3) Construction Period : approximately 22.6 months
- 4) Cost estimate is implemented in accordance with the guideline of Japan's Grant Aid.

Procès-verbal des Discussions
sur
l'Etude du Concept de Base
de
l'Aide Financière Non Remboursable
pour
la Réhabilitation des Routes et des Infrastructures pour la ville de
Bujumbura
en République du Burundi

En mai 2009, l'Agence Japonaise de Coopération Internationale (désignée ci-après « la JICA ») a envoyé en République du Burundi (désignée ci-après « le Burundi ») une mission d'étude du concept de base sur le projet pour la réhabilitation des routes et des infrastructures pour la ville de Bujumbura (désigné ci-après « le Projet »). Et par les discussions et les études sur terrain suivies de l'analyse technique au Japon, la JICA a préparé le rapport provisoire de l'étude du concept de base.

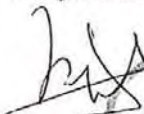
En vue de la présentation du rapport provisoire du concept de base et de la poursuite des discussions avec les officiels du gouvernement burundais, la JICA a envoyé au Burundi du 28 janvier au 5 février 2010, une mission d'étude chargée de l'explication du rapport provisoire du concept de base, conduite par Monsieur Hiromi MOTOMURA, Directeur du Département de l'Infrastructure Economique de la JICA (désignée ci-après « la Mission »).

A l'issue des discussions, les deux parties ont confirmé les principaux points mentionnés dans le document ci-joint : Appendice et Annexes.


Fait à Bujumbura le 4 février 2010

本村 洋

M. Hiromi MOTOMURA
Chef de Mission
Mission d'étude chargée de
l'explication du rapport provisoire du
concept de base
JICA, Japon


Ir. Léandre RUBERINTWARI
Directeur Général de l'Office des Routes
Ministère des Travaux Publics et de
l'Equipement (MTPE)
République du Burundi




Ir. Anatole KANYENKIKO
Ministère des Travaux Publics et de
l'Equipement
République du Burundi



Appendice

1. Contenu du Rapport Provisoire de l'Étude du Concept de Base

La partie burundaise a approuvé et accepté en principe le contenu du rapport provisoire du concept de base, présentée par la Mission. Par ailleurs, la partie burundaise a demandé à la partie japonaise de tenir compte des points tels que la révision de carrefour, l'équivalence des normes françaises et AASHTO. Les deux parties ont convenu d'examiner ces points lors de la conception détaillée conformément au Concept de Base du Projet.

2. Programme de l'aide financière non-remboursable du Japon

La partie burundaise a pris acte du programme de l'aide financière non remboursable du Japon et les mesures nécessaires à prendre par la partie burundaise en Annexe-1, expliqué par la Mission.

3. Calendrier de l'étude

La JICA, se référant au contenu approuvé, rédigera le rapport final de l'étude du concept de base et le soumettra à la partie burundaise vers le mois de mars 2010.

4. Estimation du coût du Projet

Le coût estimé du Projet, tel qu'il est joint à l'Annexe-2, est confidentiel et ne doit jamais être dupliqué ni divulgué aux autres avant la signature de tous les contrats du Projet.

5. Autres

5-1. La partie burundaise devra garantir le budget suffisant pour couvrir les frais suivants en tant que condition de l'aide financière non remboursable du Japon à exécuter :

- (1) Expropriation
- (2) Enlèvement des objets obstacles
- (3) Mise en place des tableaux de distribution pour l'éclairage routier
- (4) Commissions pour les services bancaires basés sur l'Arrangement Bancaire (A/B)
- (5) Commissions de notification de l'Autorisation de Paiement (A/P)

5-2. La partie burundaise s'est engagée à assurer que l'exemption fiscale pour le Projet devra être faite en temps opportun, en tant que condition de l'aide financière non remboursable du Japon à exécuter.

5-3. La partie burundaise devra assurer le budget suffisant et le personnel nécessaire pour l'exploitation et la maintenance des routes et des infrastructures construites par le Projet.

5-4. La partie burundaise s'est engagée à faire les discussions et les coordinations avec les intéressés pour assurer l'acquisition des terrains sans retarder l'exécution des travaux (la soumission y afférente est prévue en décembre 2010.) comme le mentionne la lettre en Annexe-3.

5-5. La partie burundaise s'est engagée à faire les discussions et les coordinations avec les autorités concernées de manière que les réseaux et les constructions empêchant les travaux ne soient pas mis en place à nouveau.

Annexe-1 : Principaux Travaux à exécuter par chaque gouvernement

Annexe-2 : Estimation du Coût du Projet

Annexe-3 : Copie de la Lettre d'engagement en date du 11/12/2009, délivrée par le Ministère de l'Eau, de l'Environnement, de l'Aménagement du Territoire et de l'Urbanisme, sous N/Réf : 770/1879/CAB/2009.

Principaux Travaux à exécuter par chaque gouvernement

| No | E L E M E N T S | Couvert par le Japon | Couvert par le pays bénéficiaire |
|----|---|----------------------|----------------------------------|
| 1 | Acquisition du terrain | | • |
| 2 | Dégagement, nivellement et aménagement du terrain, si nécessaire | | • |
| 3 | Prise en charge des commissions suivantes de la banque de change japonaise pour les services bancaires basés sur les arrangements bancaires (A/B) | | |
| | 1) Commission de notification de l'autorisation de paiement (A/P) | | • |
| | 2) Commission de paiement | | • |
| 4 | Déchargement et Dédouanement au port de débarquement du pays bénéficiaire | | |
| | 1) Transport vers le pays bénéficiaire par mer (air) de produits originaires du Japon | • | |
| | 2) Exonération d'impôts et dédouanement des produits au port de débarquement du pays bénéficiaire | | • |
| | 3) Transport interne du pays entre le port de débarquement et le site | • | |
| 5 | Accorder aux ressortissants japonais dont les services pourraient être requis dans le cadre de la fourniture des produits ou dans le cadre du contrat toute l'aide nécessaire pour assurer leur arrivée dans le pays bénéficiaire et y permettre leur séjour afin qu'ils puissent exécuter lesdits services | | • |
| 6 | Exonérer les ressortissants japonais de droits de douane, taxes intérieures et/ou autres levées fiscales imposées dans le pays bénéficiaire eu égard à la fourniture des produits et des services spécifiés dans les contrats vérifiés | | • |
| 7 | Exploitation et maintenance correctes et efficaces des installations construites et des équipements fournis dans le cadre de l'aide financière non-remboursable | | • |
| 8 | Prise en charge de toutes dépenses, autres que celles couvertes par l'aide financière non-remboursable, nécessaires à la construction des installations et au transport et montage des équipements | | • |

(A/B : Arrangement Bancaire, A/P : Autorisation de Paiement)

CONFIDENTIEL**Estimation du Coût du Projet**

「施工・調達業者契約認証まで非公表」

(2) Coût à la charge de la partie burundaise

Coût total approximativement estimé : 599,6 millions de FBU. (46,6 millions de Yen)

Les articles et les coûts chargés par le Ministère des Travaux Publics et de l'Équipement sont 1) - 3) comme suit ;

| Articles | Montant Total en million FBU (en million de Yen) |
|--|---|
| ① Commissions bancaires | 43,0 (3,3) |
| ② Enlèvement des objets obstacles sur le sol | 39,4 (3,1) |
| ③ Mise en place des tableaux de distribution (la première source électrique) pour l'éclairage routier | 17,2 (1,3) |
| Total | 99,6 (7,7) |

Note : « L'acquisition de terrains ainsi que la démolition et la reconstruction des clôtures », dont le montant est temporairement estimé à 500 millions de FBU par la partie burundaise, seront assurées par le Ministère en charge de l'Urbanisme, comme le mentionne la Lettre en date du 11/12/2009, délivrée par le Ministère de l'Eau, de l'Environnement, de l'Aménagement du Territoire et de l'Urbanisme, sous N/Réf : 770/1879/CAB/2009. (La copie de cette Lettre est attachée à l'Annexe-3.)

(3) Conditions du Calcul

- 1) Temps de calcul: Juin, 2009
- 2) Taux de change : US\$1,00= ¥95,69 1 FBU=0,08 Yen
- 3) Période d'exécution : Approximativement 22,6 mois
- 4) L'estimation est effectuée sur le système de l'aide financière non remboursable du Japon.

REPUBLIQUE DU BURUNDI

Bujumbura, le 11/12/2009



MINISTRE DE L'EAU, DE L'ENVIRONNEMENT,
DE L'AMENAGEMENT DU TERRITOIRE
ET DE L'URBANISME

CABINET DU MINISTRE

N/Réf : 770/ *Handwritten* / CAB/2009

A Japan International Cooperation Agency (JICA)

à
BUJUMBURA

Messieurs,

Faisant suite à l'entretien mené entre les consultants de JICA et l'équipe technique du Ministère en charge de l'Urbanisme, nous avons l'honneur de vous confirmer notre engagement à faciliter l'exécution de ce projet de réhabilitation des sections de routes : Avenue de la Plage, Avenue du Large et Avenue Yaranda.

En effet, le Gouvernement réaffirme, par notre entremise, qu'il prévoit pour 2010 le budget nécessaire pour l'expropriation des parcelles concernées par le passage de la route : BTC, Kanyoni, Cathédrale Regina Mundi et sur la jonction Yaranda-Avenue du Large.

Veuillez agréer, Messieurs, l'assurance de notre considération distinguée.

LE MINISTRE DE L'EAU, DE L'ENVIRONNEMENT,
DE L'AMENAGEMENT DU TERRITOIRE
ET DE L'URBANISME



COPIE POUR INFORMATION

- Madame la Ministre des Finances
à
BUJUMBURA

M.

5. 事業事前計画表（概略設計時）

事業事前計画表（概略設計時）

| |
|--|
| 1. 案件名 |
| ブルンジ共和国 ブジュンブラ市内交通網整備計画準備調査 |
| 2. 要請の背景（協力の必要性・位置付け） |
| <p>ブルンジ共和国（以下、「ブ」国）は、1993年より10年以上続いた内戦が2006年に終結し、復興と開発の取り組みが始まったばかりである。道路整備については、内戦の影響によりインフラ整備および維持管理が十分行われなかった影響が大きく、内戦終了後の交通需要の増加に対応できない状況にある。特にブジュンブラ市内は、主要幹線道路が市の中心部から放射状に延び、市内に交通が集中する構造上の問題も重なり、交通渋滞が深刻化している。市内の交通渋滞を緩和させる環状線は一部区間（対象道路のヤランダ道路 1.4km）が未整備であり、早急な建設が求められている。また、「ブ」国経済の根幹となる南北軸の強化も「ブ」国の国家開発計画の目標・方針に資する重要な位置付けとなっている。</p> <p>プロジェクト対象道路は、上述の位置付けとなる重要路線である一方、沿道家屋が近接する市街地道路であり、沿道および近隣住民の生活道路の機能も有している。したがって交通量の増加、整備後の交通の高速化に対する歩行者等への安全配慮も十分考慮しなければならない。またプロジェクト始点部は排水施設の容量不足による冠水が頻発する地域であり、交通傷害および周辺住民への被害を早期に改善することが必要である。</p> <p>本プロジェクトでは、環状道路のミッシング区間であるヤランダ道路を建設とボトルネックとなるヤランダ道路と既存道路との交差点を整備し、ブジュンブラ市と隣国を繋ぐ主要国際幹線道路が開通され、深刻化しているブジュンブラ市内の交通渋滞が緩和される。また他のプロジェクト対象区間の整備により、タンザニア国およびルワンダ国を繋ぐ南北軸が強化されるとともに、始点部終点の冠水に対して新設カルバートが建設され緩和対策が行われ、ブジュンブラ市の社会経済の活性化、インフラサービスの向上・改善および地域住民の生活改善が図られる。</p> |
| 3. プロジェクト全体計画概要 |
| (1) プロジェクト全体計画の目標（裨益対象の範囲及び規模） |
| <p>ブジュンブラ市内の渋滞緩和により輸送コストを削減し、同国の社会経済活動が活性化される。対象区間の円滑な交通が実現する。</p> <p>直接裨益対象の範囲及び規模：ブジュンブラ市民 54.7万人</p> |
| (2) プロジェクト全体計画の成果 |
| <p>ア <u>隣国を結ぶ国際幹線道路（南北軸）と環状道路の一部約 3.0km の道路拡幅、歩道の整備、排水施設、主要 7 交差点の街路灯の整備が行われる。</u></p> <p>イ <u>環状道路の一部（ヤランダ道路）約 1.4km の道路改修が行われる。</u></p> <p>ウ <u>ヤランダ道路取り付け部の交差点（ロータリー）が整備される。</u></p> |
| (3) プロジェクト全体計画の主要活動 |
| <p>ア <u>ブジュンブラ市内道路総延長 4.4km およびロータリー交差点の整備</u></p> <p>イ <u>上記施設を適切に運営・維持管理しその機能を確保する</u></p> |

(4) 投入

ア 日本側：「施工・調達業者契約認証まで非公表」

イ 相手国側

(ア) 用地確保、銀行手数料の負担、地上障害物の撤去、街路灯の一次側電源の設置

(イ) 必要な人員：維持管理要員（324人/年）

(ウ) 建設資機材：小型トラック、スコップ、ハンマー、草刈機、タンパ等

(エ) 施設の運営・維持管理に係る経費： FBU 37.91 百万/年

(5) 実施体制

主管官庁及び実施機関：公共事業設備省 道路局

4. 無償資金協力案件の内容

(1) サイト

ブルンジ国ブジュンブラ市

(2) 概要

延長 3.0km の道路整備（ヤランダ道路以外の道路：既存 2 車線から 4 車線に拡幅）、
延長 1.4km の道路改修（ヤランダ道路：現状土道の道路改修）、道路排水施設の整備、主要交
差点 7 カ所の整備（ヤランダ道路と既存道路とのロータリー交差点建設を含む）と同箇所の街
路灯の設置

(3) 相手国側負担事項

①用地の確保、②銀行手数料の負担、③地上障害物の撤去（看板、樹木）④街路灯の一次側電
源の設置

(4) 概略事業費

「施工・調達業者契約認証まで非公表」

(5) 工期

詳細設計・入札期間を含め 30.1 ヶ月（予定）

(6) 貧困、ジェンダー、環境及び社会面の配慮

用地確保および埋設物の移設を少なくする計画とし、社会環境へ与える負の影響を最小とした。

5. 外部要因リスク（プロジェクト全体計画の目標の達成に関するもの）

治安が悪化しないこと。

6. 過去の類似案件からの教訓の活用

特になし。

7. プロジェクト全体計画の事後評価に係る提案

(1) プロジェクト全体計画の目標達成を示す成果指標

| 現状と問題点 | 現状の数値 (2009年) | 目標年における計画値 (目標年：2013年) |
|---|-----------------------------|---------------------------|
| 1. 通行時間の短縮 (ヤランダ道路以外の道路：既存2車線) 損傷が激しい区間があり円滑な交通の障害となっている。(延長3.0km) | 6分 | 3分 |
| 2. 通行時間の短縮 (ヤランダ道路：現状土道) 未整備の土道であり円滑な交通の障害となっている。(延長1.4km) | 8分 | 1.7分 |
| 3. 市内交通流入量の軽減 市内中心から放射状に延びる主要幹線道路を繋ぐ環状道路がなく、市内に交通量が集中し交通渋滞が深刻な問題となっている。 | 86,000台 (主要幹線道路からの流入交通量) | 76,700台 |
| 4. 始点部周辺の冠水期間および時間の軽減 始点部周辺は排水施設の容量不足により冠水が頻発しており、交通障害、周辺住民および工場等に大きな影響を及ぼしている。 | 冠水日数：90日/年 冠水時間：6時間/回 | 冠水日数：45日/年 冠水時間：3時間/回 |

(2) その他の成果指標

なし

(3) 評価のタイミング

2013年以降（施設完成後1年経過後）

6. 収集資料リスト

調査名 ブルンジ国ブジュンブラ市内交通網整備計画準備調査

| | 資料名 | 形態 図書・ビデオ 地図・写真等 | オリジナル ・コピー | 発行機関 | 発行年 |
|---|--|------------------------|---------------|--|--------|
| 1 | 質問表の回答 (Questionnaire and Answer) | 印刷 | オリジナル | 道路局 | 2009 |
| 2 | 仏文名 : Guide Pratique de Dimensionnement des Chaussées dans les Pays Tropicaux 和訳名 : 仏語圏アフリカ道路設計基準 | 冊子 | コピー | Ministere des Relations Exterieures 外務省 | 1984 |
| 3 | 仏文名 : Manuel pour le Renforcement des Chaussées souples en Pays Tropicaux 和訳名 : 仏語圏アフリカ弾性車道強化マニュアル | 冊子 | コピー | Ministere des Relations Exterieures 外務省 | 1985 |
| 4 | 仏文名 : Guide Pratique pour la Conception Géométrique des Routes et Autoroutes 和訳名 : 仏語圏アフリカ道路・高速道路幾何構造基準 | 冊子 | コピー | 道路局 | 1981 |
| 5 | 仏文名 : Projet d'évacuation des eaux usées de la ville de Bujumbura (Plan de Récolement) 和訳名 : ブジュンブラ市下水整備計画 (出来型図) | 冊子 | コピー | SETEMU | 2000/6 |
| 6 | 仏文名 : Etude de Protection du Bassin du Port de Bujumbura (Rapport Provisoire) 和訳名 : ブジュンブラ港係船池保全計画 (ドラフトレポート) | 冊子 | コピー | 港湾局 | 1980 |
| 7 | 仏文名 : Carte Topo Géo 和訳名 : 地形・土質図 | データ | オリジナル | GEOSCI 社 | 2009 |

| | 資料名 | 形態 図書・ビデオ 地図・写真等 | オリジナル ・コピー | 発行機関 | 発行年 |
|----|---|------------------------|---------------|---------|------|
| 8 | 仏文名 : Ordonnance Ministérielle No.720/CAB/336/2006 du 26/04/2006 Portant sur Application du Décret No.100/88 du 31 Octobre 2005 Portant Réorganisation du Ministère des Travaux Publics et de l'Équipement 和訳名 : 2005年10月31日付公共事業・設備省再編に関する政令100/88号の 適用に関する2006年4月26日付省令720/CAB/336/2006号 | 印刷 | コピー | 道路局 | 2006 |
| 9 | 仏文名 : Parc Automobile du Burundi 1996-2001 和訳名 : ブルンジ車両登録台数(1996-2001) | 冊子 | コピー | ISTEEBU | 2005 |
| 10 | 仏文名 : Cadre Stratégique de Croissance et de Lutte contre la Pauvreté 和訳名 : 成長・貧困対策戦略ペーパー (PRSP) | データ | コピー | 道路局 | 2005 |
| 11 | 仏文名 : Organigramme Général Actuel des SETE MU 和訳名 : ブジュンブラ市技術局(SETEMU)組織図 | 印刷 | コピー | SETEMU | 2009 |
| 12 | 仏文名 : Schéma de Développement de la ville de Bujumbura 和訳名 : ブジュンブラ市開発計画マスタープラン | 図面 | コピー | 住宅局 | 1980 |
| 13 | 仏文名 : Liste des Participants à la Réunion sur les Réseaux Souterrains 和訳名 : 地下埋設物管理者会議出席者リスト | 手書き | コピー | 道路局 | - |
| 14 | 仏文名 : Données sur Précipitations journalières (période de 5 ans), Intensité-Durée-Fréquence (1985-1994), Evolution du niveau du Lac Tanganyika (1983-1992) (CD) | データ (CD-R) | コピー | IGEBU | 2009 |

| | 資料名 | 形態 図書・ビデオ 地図・写真等 | オリジナル ・コピー | 発行機関 | 発行年 |
|----|--|------------------------|---------------|------|------|
| | 和訳名：日雨量(5カ年確立)、強度-時間-頻度(1985-1994)、タンガニーカ湖の水位変動(1983-1992)に関するデータ (CD) | | | | |
| 15 | 仏文名：Suivi Budgétaire des Travaux du Programme 2004 (Programme d'Entretien Routier Financé par le F.R.N.) 和訳名：2004年度施工予算表 (道路基金による道路維持管理計画) | 印刷 | コピー | 道路局 | 2009 |
| 16 | 仏文名：Suivi Budgétaire des Travaux du Programme 2005 (Programme d'Entretien Routier Financé par le F.R.N.) 和訳名：2005年度施工予算表 (道路基金による道路維持管理計画) | 印刷 | コピー | 道路局 | 2009 |
| 17 | 仏文名：Suivi Budgétaire des Travaux du Programme 2006 (Programme d'Entretien Routier Financé par le F.R.N.) 和訳名：2006年度施工予算表 (道路基金による道路維持管理計画) | 印刷 | コピー | 道路局 | 2009 |
| 18 | 仏文名：Suivi Budgétaire des Travaux du Programme 2007 (Programme d'Entretien Routier Financé par le F.R.N.) 和訳名：2007年度施工予算表 (道路基金による道路維持管理計画) | 印刷 | コピー | 道路局 | 2009 |
| 19 | 仏文名：Suivi Budgétaire des Travaux du Programme 2008 (Programme d'Entretien Routier Financé par le F.R.N.) 和訳名：2008年度施工予算表 (道路基金による道路維持管理計画) | 印刷 | コピー | 道路局 | 道路局 |
| 20 | 仏文名：Adresse des Entreprises Partenaires à OdR 和訳名：道路局登録コントラクターリスト | 印刷 | コピー | 道路局 | 2009 |

| | 資料名 | 形態 図書・ビデオ 地図・写真等 | オリジナル ・コピー | 発行機関 | 発行年 |
|----|--|------------------------|---------------|----------|------|
| 21 | 仏文名：Inventaire Exhaustif de Tout le Charroi et son Etat Individuel 和訳名：保有機材インベントリーおよび機材状況 | 印刷 | コピー | 機材整備局 | 2009 |
| 22 | 仏文名：Organigramme de Garage de l'Agence de Location du Matériel 和訳名：機材整備局 ワークショップ課 組織図 | 印刷 | コピー | 機材整備局 | 2009 |
| 23 | 仏文名：Tarif pour la Location du Matériel à l'A.L.M. 和訳名：機材整備局 機材レンタル単価表 | 印刷 | コピー | 機材整備局 | 2009 |
| 24 | 仏文名：Loi portant Code de l'environnement de la République du Burundi 和訳名：ブルンジ共和国環境基準法 | 印刷 | コピー | 環境局 | 2000 |
| 25 | 仏文名：Plan d'Ensemble Réseau Eau 和訳名：上水道網全体図 | 図面(青焼き) | コピー | REGIDESO | - |
| 26 | 仏文名：Plan d'Ensemble Réseau Electricité 和訳名：電気網全体図 | 図面(青焼き) | コピー | REGIDESO | - |
| 27 | 仏文名：Plan d'Ensemble Réseau Téléphone 和訳名：電話線網全体図 | 図面(青焼き) | コピー | ONATEL | - |
| 28 | 仏文名：Exploitation du Port de Bujumbura Statistiques 和訳名：ブジュンブラ港輸出入統計 | 冊子 | コピー | 港湾局 | - |
| 29 | 仏文名：Missions de l'Office des Routes 和訳名：道路局組織概要 | 印刷 | コピー | 道路局 | 2009 |
| 30 | 仏文名：Etudes de Faisabilité pour les Travaux de Construction de la Route Nationale No.18 Pièces Techniques | 冊子 | コピー | 道路局 | 2001 |

| | 資料名 | 形態 図書・ビデオ 地図・写真等 | オリジナル ・コピー | 発行機関 | 発行年 |
|----|---|------------------------|---------------|--------|-----|
| | 和訳名：国道18号線建設工事フィージビリティースタディー 技術仕様書 | | | | |
| 31 | 仏文名：Etudes Techniques Détaillées RN 18 Carrefour Type 和訳名：国道18号線 詳細調査 交差点形状 | 図面（白図） | コピー | 道路局 | - |
| 32 | 仏文名：Etudes Techniques Détaillées RN 18 Profils en Travers Types 和訳名：国道18号線 詳細調査 横断面図 | 図面（白図） | コピー | 道路局 | - |
| 33 | 仏文名：Etudes Techniques Détaillées RN 18 Signalisations, Panneaux et Marquages 和訳名：国道18号線 詳細調査 交通標識・交通表示 | 図面（白図） | コピー | 道路局 | - |
| 34 | 仏文名：Etudes Techniques Détaillées RN 18 Fosses, Bordures, Descentes d'eau et Puisard 和訳名：国道18号線 詳細調査 側溝・縁石・排水溝・汚水吐き | 図面（白図） | コピー | 道路局 | - |
| 35 | 仏文名：Etudes Techniques Détaillées RN 18 Buses, Dallettes et Drains 和訳名：国道18号線 詳細調査 導水管・スラブ・排水管 | 図面（白図） | コピー | 道路局 | - |
| 36 | 仏文名：Projet d'Evacuation des Eaux Usées Profil en long du Bld. du 1 ^{er} Novembre 和訳名：下水排水計画 November 1st 通り縦断面図 | 図面（白図） | コピー | SETEMU | - |
| 37 | 仏文名：Plan Cadastral de Bujumbura 和訳名：ブジュンブラ市地籍図 | 地図 | コピー | ONATEL | - |
| 38 | 仏文名：Schéma des Câbles posés au Quartier Asiatique à Bujumbura 和訳名：ブジュンブラ市アジア地区通信ケーブル配置図 | 図面(青焼き) | コピー | ONATEL | - |

| | 資料名 | 形態 図書・ビデオ 地図・写真等 | オリジナル ・コピー | 発行機関 | 発行年 |
|----|---|------------------------|---------------|---------------------|------|
| 39 | 仏文名 : Lettre du Ministère de l'Eau, de l'Environnement, de l'Aménagement du Territoire et de l'Urbanisme Réf. No.770/1731/CAB/2009 en date du 6/11/2009, adressée au DG des Routes concernant l'Avis sur le rapport de Considérations Environnementales et Sociales 和訳名 : 道路局長宛て 2009 年 11 月 6 日付け環境社会配慮レポートに関する意見書 水・環境・国土整備・都市計画省レター第 724/863/2009 号 | 印刷 | コピー | 水・環境・国土整備・都市 計画省 | 2009 |
| 40 | 仏文名 : Réponses au questionnaire sur le Musée Vivant de Bujumbura 和訳名 : ブジュンブラ市動植物園に関する質問票の回答 | 印刷 | コピー | 文化局 | 2009 |
| 41 | 仏文名 : Plan du Musée Vivant 和訳名 : 動植物園図 | 印刷図 | コピー | 文化局 | - |

参考 :

SETEM : ブジュンブラ市技術局

ISTEEBU : ブルンジ統計・経済研究所

GEOSCI : ジェオシ社 (現地コンサルタント)

IGEBU : ブルンジ国土地理院

REGIDESO : 水・電気生産・供給公団

ONATEL : ブルンジ通信公社